

YAMAHA
MUSIC SYNTHESIZER

EOS

B500

COMIC-MANUAL



YAMAHA **EOS**
MUSIC SYNTHESIZER B500
COMIC-MANUAL
CONTENTS

EOSの特徴……………2

デモ曲を聞こう デモ曲を聞こう……………3

ここはこう呼ぶ ここはこう呼ぶ……………4・5

音を選ぶ メモリーの選択……………6
音を選ぼう……………7

弾いてみよう 弾きかたで音量を変える……………8
楽器らしく弾く……………9

音をエディットする EOSの音のしくみ……………10
エフェクトを変えよう……………11
エフェクトを変える方法……………12
クイックエディット……………13
クイックエディットの方法……………14
作った音の保存……………15

曲作りに挑戦

曲をつくろう……………16
シーケンサーとは……………17
トラックとは……………18
曲作りの手順……………19
マルチの設定……………20
ドラムのパートを作ろう……………21
ドラムのパートはリズムパターンをつなぐ……………22
リズムパターンを作る方法……………23
リズムパターンをリアルタイムレコーディング……………24
リズムパターンをステップレコーディング……………25
リズムパターンのならべかえ……………26
ベースを入力する……………27
4つのデータ修正方法……………28
音をそろえよう……………29
コードをステップレコーディング……………30
曲のしあげ……………31
できた曲をメモリーカードに保存する……………32

EOSの発展性

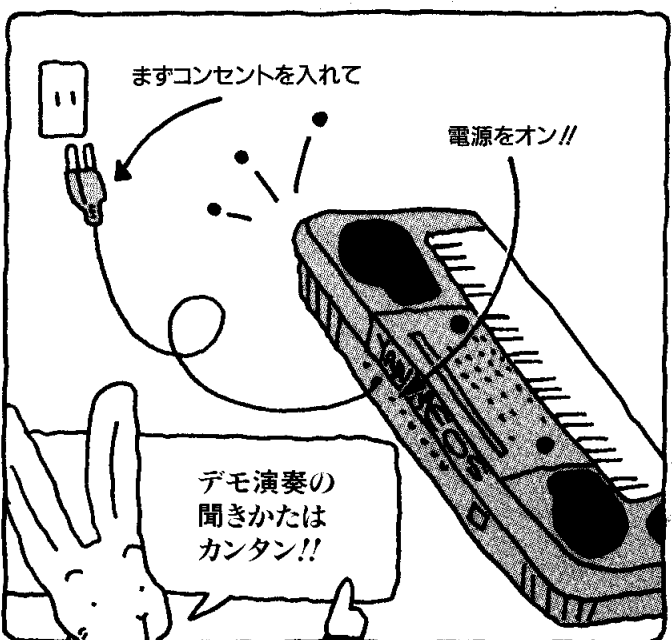
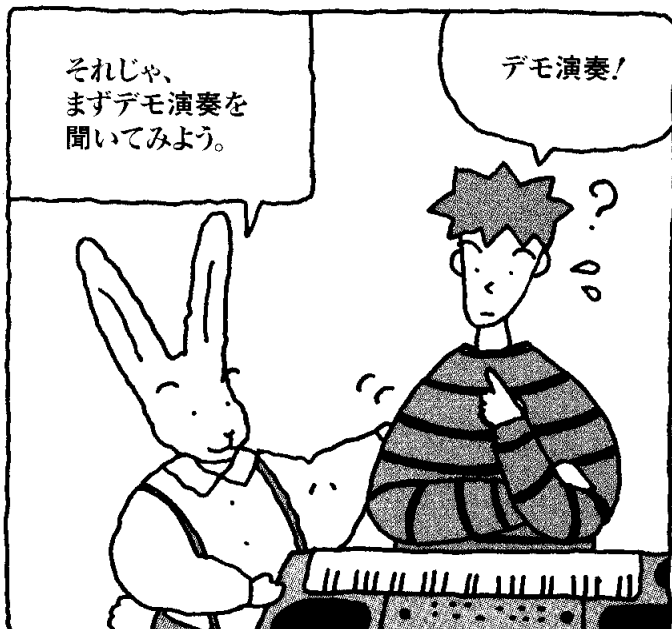
EOSは発展する……………33
カードで音を増やす……………34
ほかの機材をつなぐ……………35



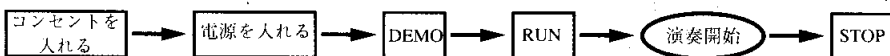
【デモ曲を聞こう】 デモ曲を聞こう

EOSにはTMNの小室哲哉さんのオリジナル曲が、1曲まるまる入ってるゾ。

これはボタン一つで簡単に再生できるから、
とにもかくにも最初にこの曲を聞いてみよう。



手順





▷ カードスロット
音色やシーケンサーのデータなどは
ここに差し込んで使用する

▷ モードキー
EOSにどんなことをやらせるのか
を遊ぶキー
[SONG][PATTERN]
[VOICE]の三つのキーがある

▷ ユーティリティキー
デモ演奏を楽しんだり、データを保
存したりするときに使うキー
[DEMO][UTILITY]
[STORE/COPY]



▷ ホイール
モジュレーションホイールとピッチベ
ンドホイールの2つから成る。楽々ら
しく演奏する時に使用する

▷ 鍵盤
引鍵盤。押さえる力によって音量を調節
できる。またいろいろなドラムの音を
鳴らすことができる

▷ ボリューム
音の大きさを調節する時に使う



▷ サブモードキー
[EDIT][EFFECT EDIT]
などのキーがある

▷ 電源コード
この先を家庭用電源コンセント(100V)
に差し込む

▷ 電源スイッチ
EOSの電源をオン/オフするスイ
ッチ。演奏中まちがってオフしない
ように



▷ ディスプレイ
いろいろな情報が表示されること



ここではこのコミックマニュアルに
出てくる部分だけに触れています。詳
しい各部分の名称・働きは操作ガイド
ブックを参照してください。

▷[SHIFT]/[TRACK]/[F1]
~[F8]/[TR1]~[TR8]/
[RHYTHM]
ここでは横一列にたくさんのキーが
並んでいる
・[SHIFT]他のキーと同時に押
して特別な機能呼び出す
・[TRACK]このキーを押しながら
[TR1]~[TR8][RHYTHM]キーを押すとトラック選択できる
・[F1]~[F8]ディスプレイに表示
された項目のどれを選ぶかを選択
するときに使う
・[EXIT]自分が何をしているか
からなくなったらこのキーを押す

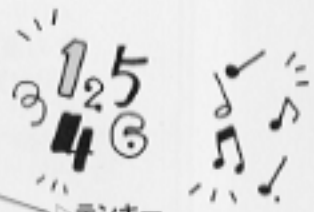
▷メモリーセレクトキー
どのメモリーから選ぶかを選択する

▷スピーカー
いつでもどこでも演奏できるヒミツ
はこのスピーカーが持っているから

▷データエントリーダイ
ヤル
音を選んだり、ディスプレイの表示を
変えたりするときに使うダイヤル



▷[-/NO][+/YES]キー
音を選んだり、データを入力した
るときに使うキー



▷テンキー
数字を選ぶとき、音符を選ぶときに
使う

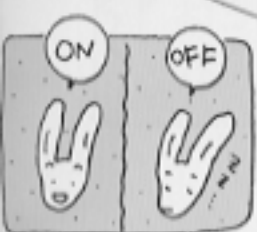


▷シーケンサーキー
シーケンサーを操作するためのキー
カセットデッキ感覚で使える

▷MIDI端子
外部のシンセサイザーなどと一緒
に使ったり、逆にコンピュータなどで
EOSをコントロールする時に使用

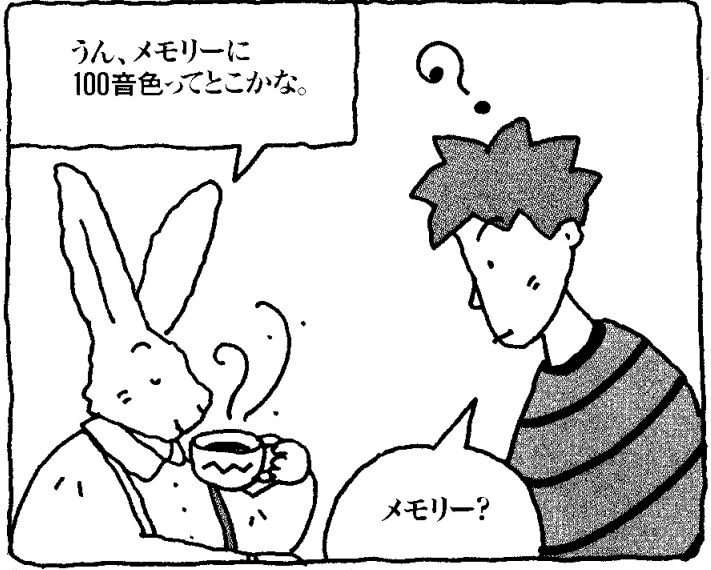
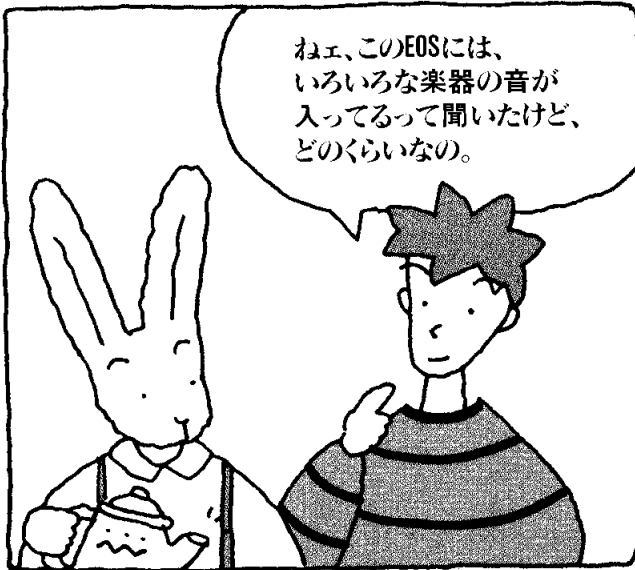
▷インプット
外部の楽器のライン出力をここに差
し込むと、EOSのスピーカーでその
楽器の音を再生できるようになる

▷アウトプット
EOSの音を外部のスピーカーなど
で再生するときなどに使う



【音を選ぶ】 メモリーの選択

音を選んで演奏する前にやらなくちゃならないこと。
それがメモリーの選択だ。
メモリーとは何か？選択の手順は？

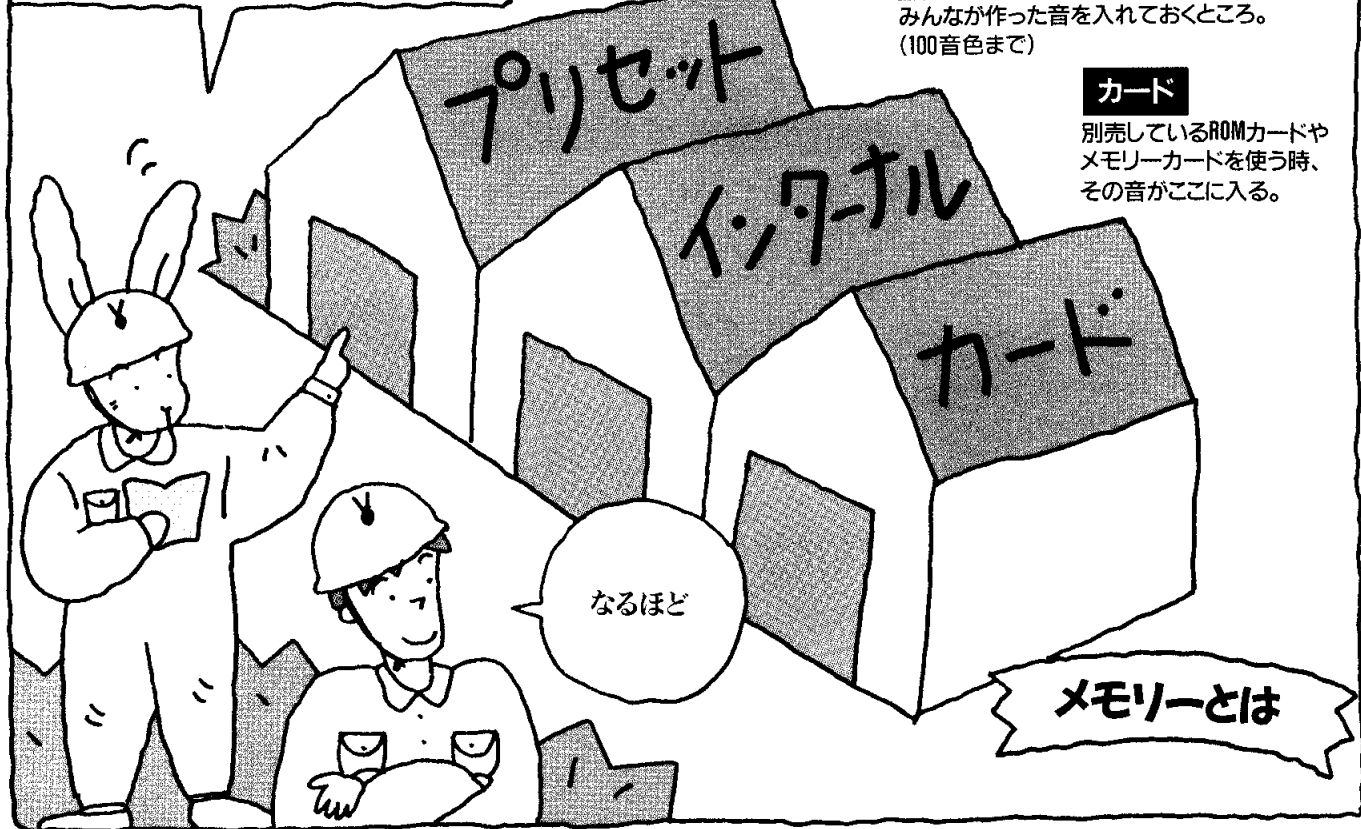


メモリーは、
音の倉庫みたいなもので、
EOSには3つあるんだよ。

プリセット 合計100音色(ドラムセットを含む)
が入っている。

インターナル
みんなが作った音を入れておくところ。
(100音色まで)

カード
別売しているROMカードや
メモリーカードを使う時、
その音がここに入る。



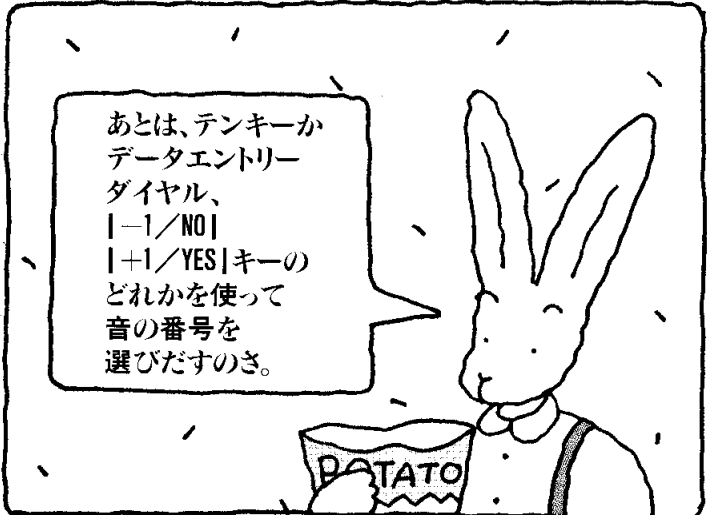
音を選ぶ

メモリーの選択

くわしい内容・操作方法は操作ガイドブックのホームページを見てね

【音を選ぶ】 音を選ぼう

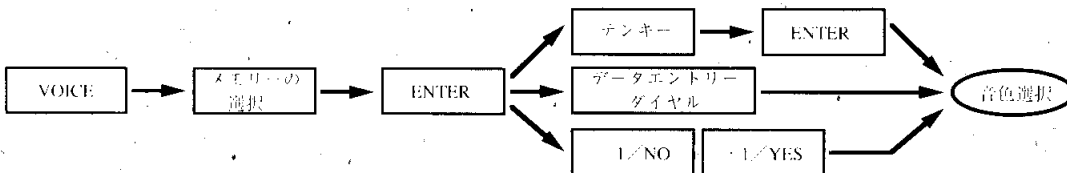
EOSに内蔵された、たくさんの音を選んで演奏してみよう。
いろいろな音があるから、それを聴くだけでも楽しいゾ!!



音の選びかたの3つの方法

使うキー	動作	特徴
テンキー 	音色番号を 押した後、 [ENTER]キー を押す	選みたい音の番号を押した後、 [ENTER]キーを押す。音の番号 がわかれば最も早く音を選べる
データ エントリー ダイヤル 	回す	「カチッ」という 音がするたびに音 が変わる。グルグル 回せば、数値も 変わる
[-1/NO] [+1/YES] 	押す	[-1/NO]キー は押すたびに数値 が一つずつ減り、 [+1/YES]キー は数値が一つずつ 増える

手順



【弾いてみよう】

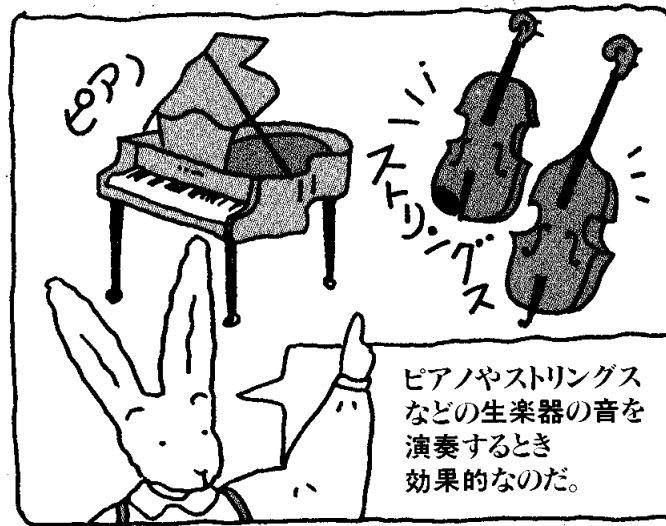
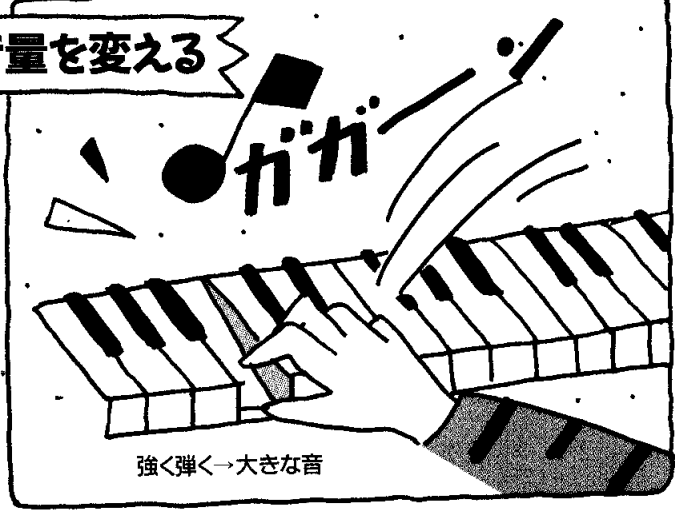
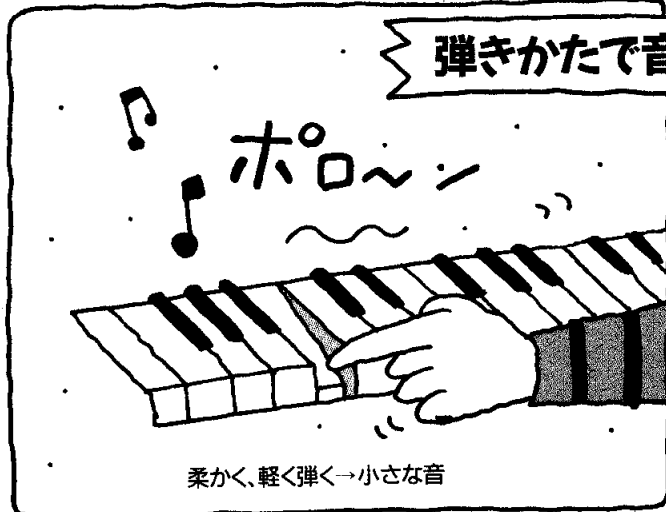
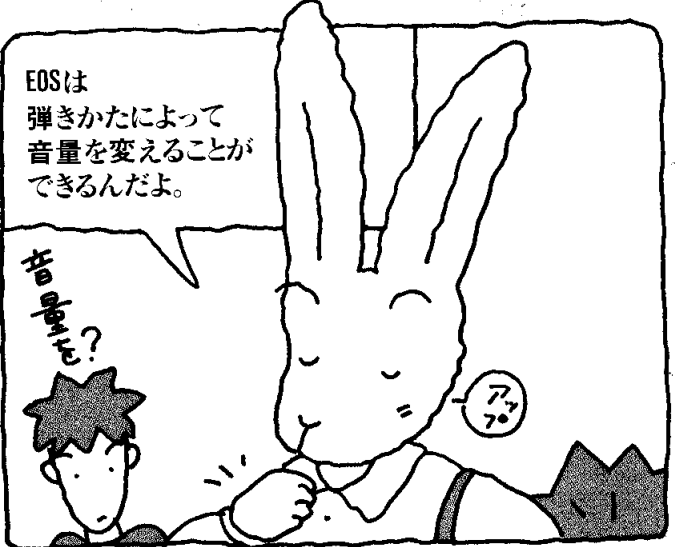
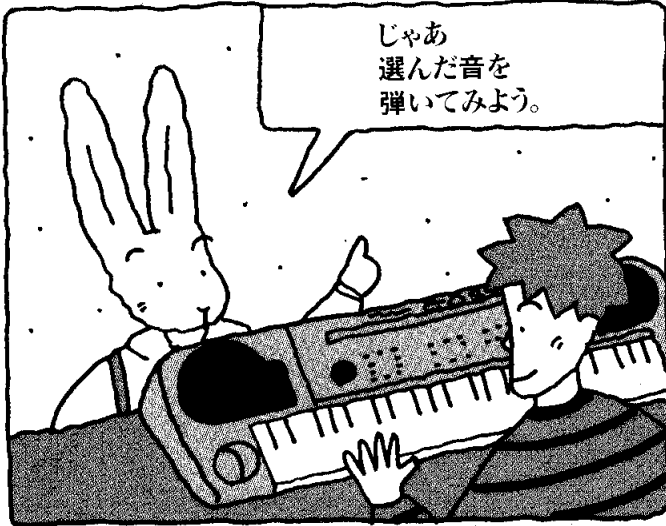
弾きかたで音量を変える

より楽器らしく演奏するため、EOSにはいろんな機能が用意されている。
たとえばここで紹介する“弾きかたによる音量調節”もその一つ。

弾いてみよう

弾きかたで音量を変える

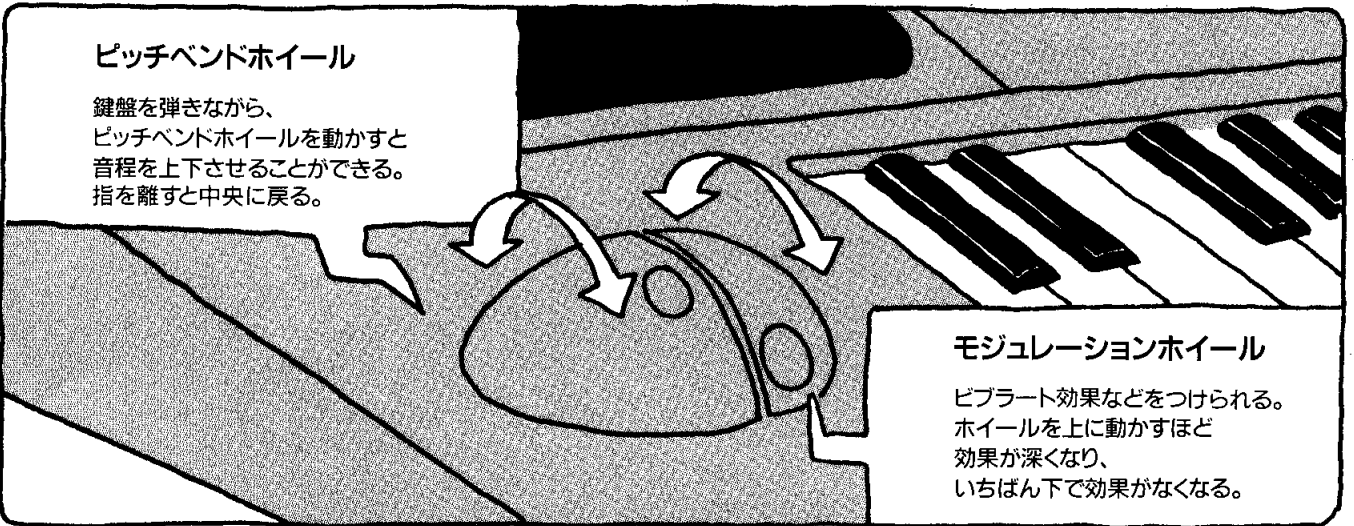
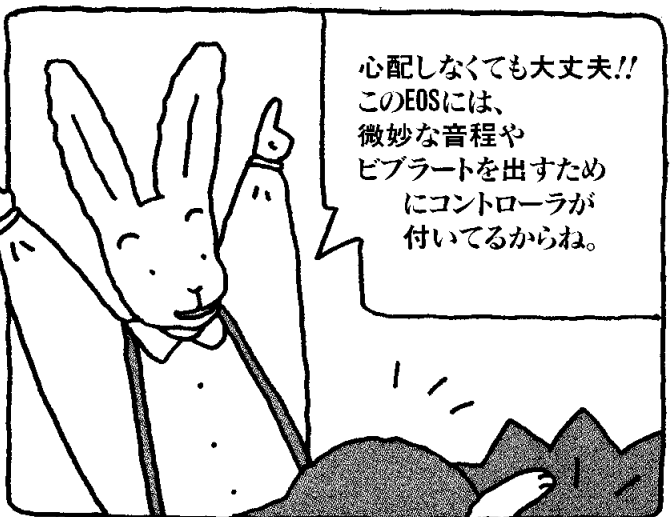
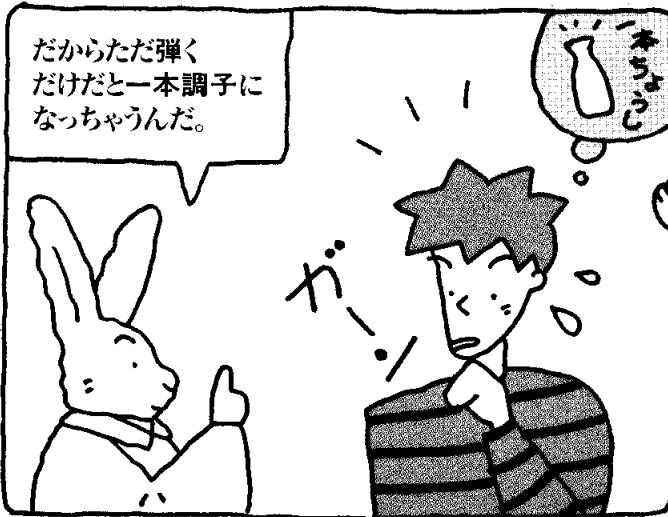
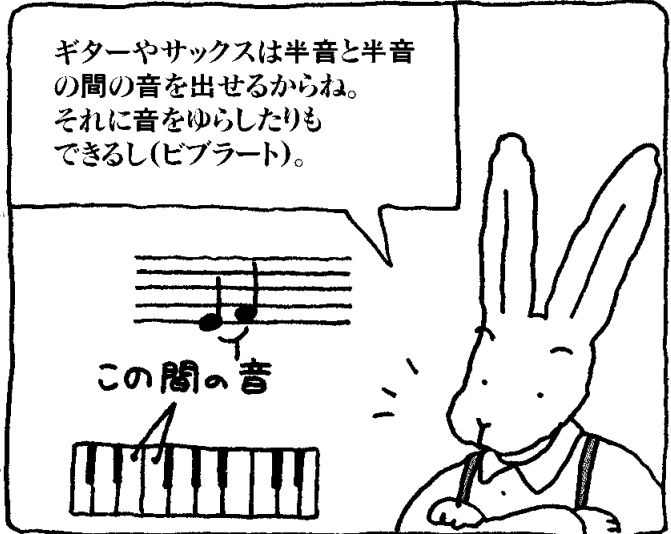
くわしい内容・操作方法は操作ガイドブックの66ページを参照



(注:音色によっては変化しない場合もあります)

【弾いてみよう】 楽器らしく弾く

EOSの演奏をエレキギターやサックス、ストリングスといった生楽器のニュアンスに近づけるにはどうしたらいいのだろうか？ その方法を探ってみよう。

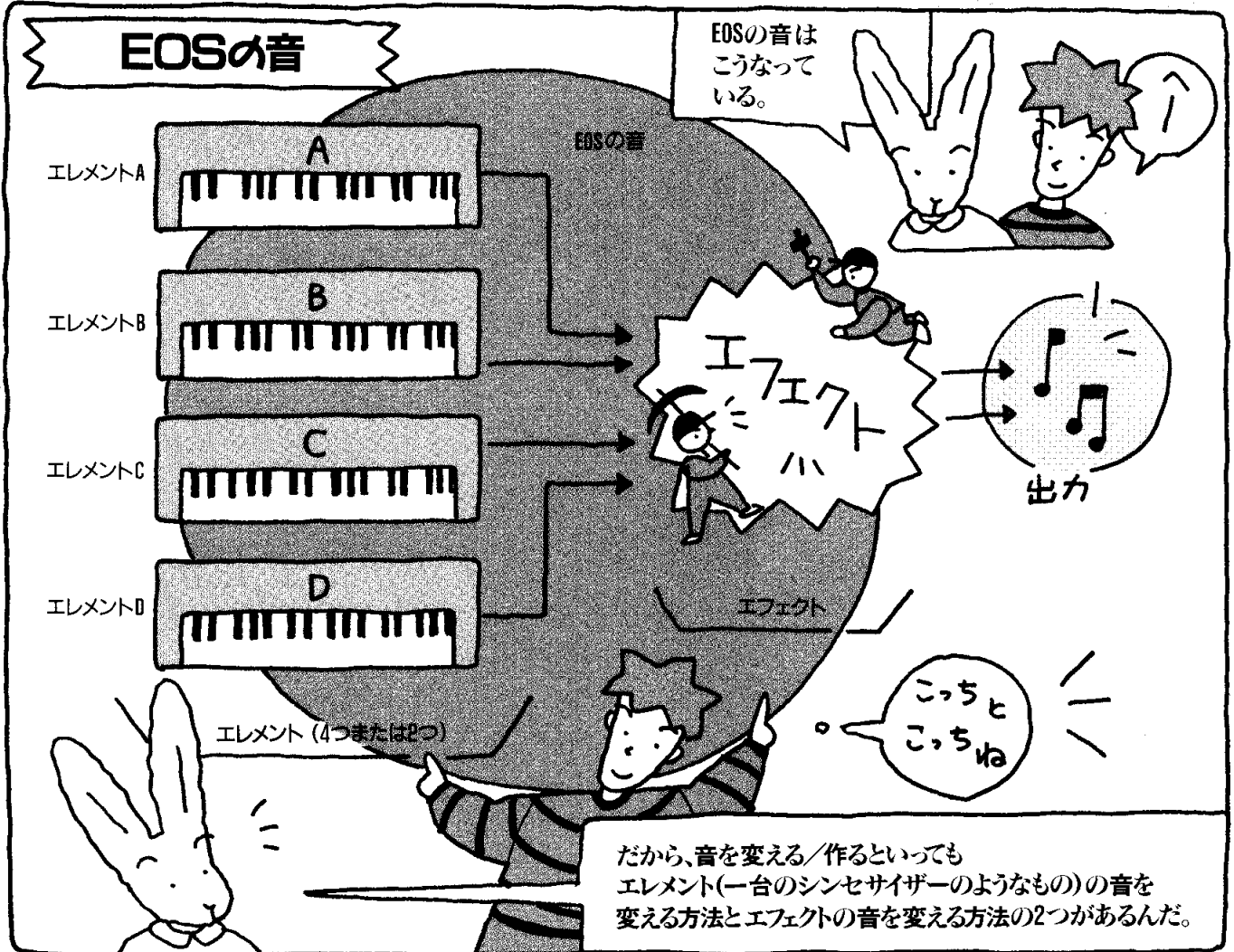
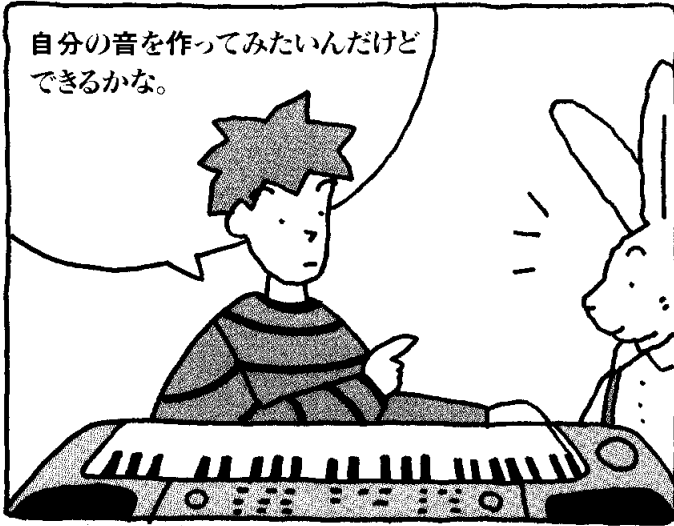


弾いてみよう
楽器らしく弾く
かわいい内容・操作方法は操作ガイドブックの⑥ページを見てね

【音をエディットする】EOSの音のしくみ

鍵盤を押せば鳴るEOSサウンド。
EOSを理解するためにその音がどのようにできているかを見てみよう。

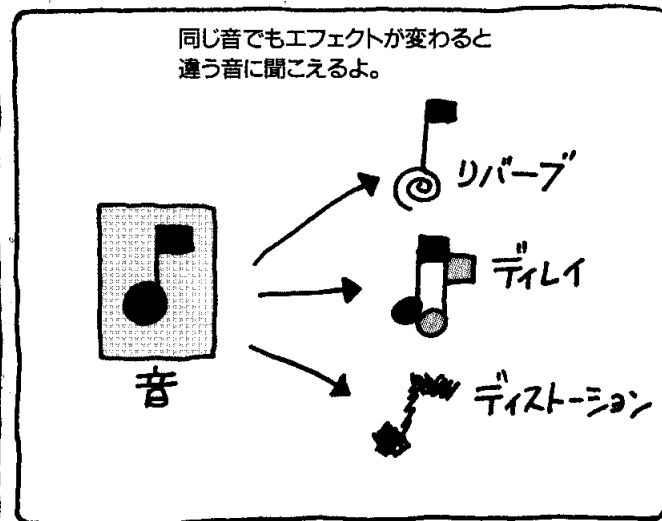
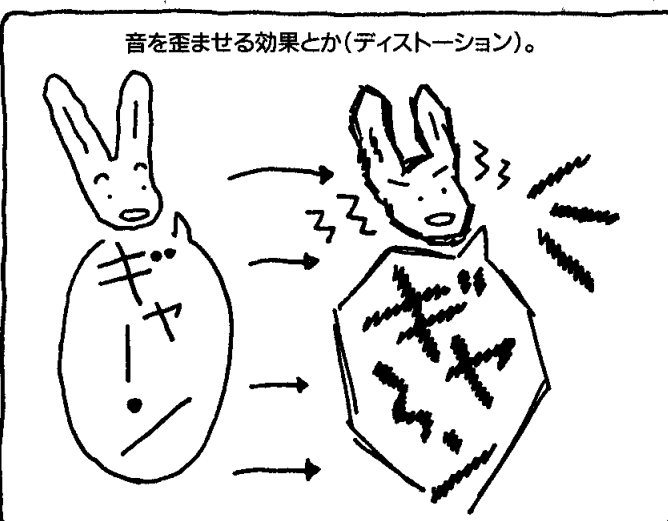
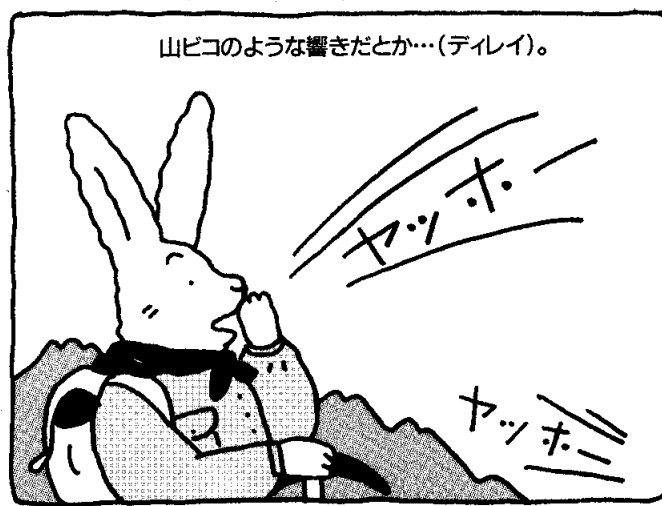
音をエディットする
EOSの音のしくみ



くわしい内容・操作方法は操作ガイドブックのこのページを見てね

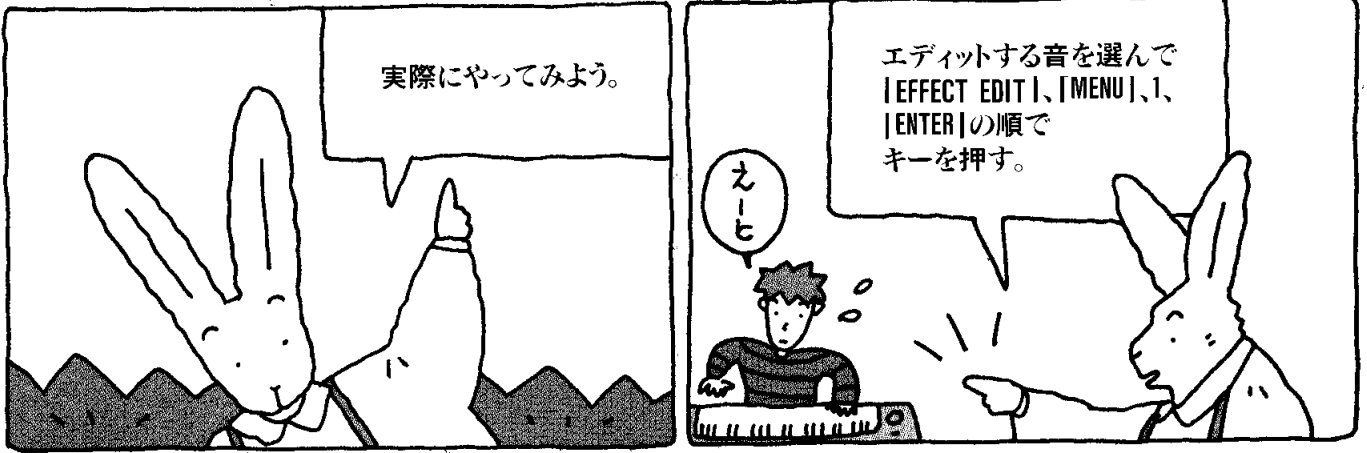
【音をエディットする】 エフェクトを変えよう

EOSに内蔵されている音を自分の好みの音に調節(エディット)してみよう。
最もてっとり早くできる方法はエフェクトを変えること。
ところでエフェクトって何?

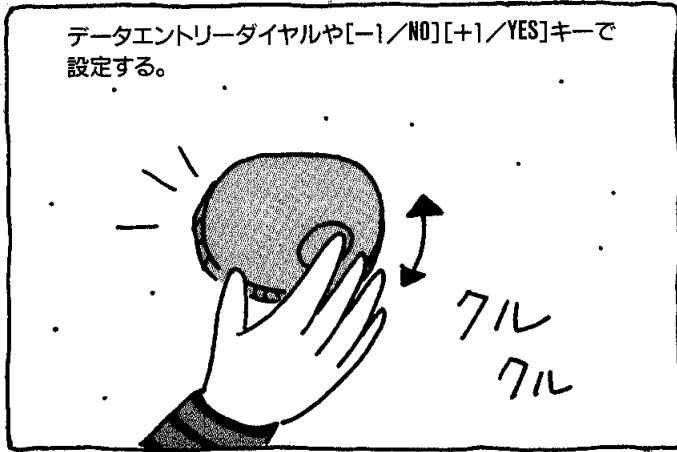


【音をエディットする】 エフェクトを変える方法

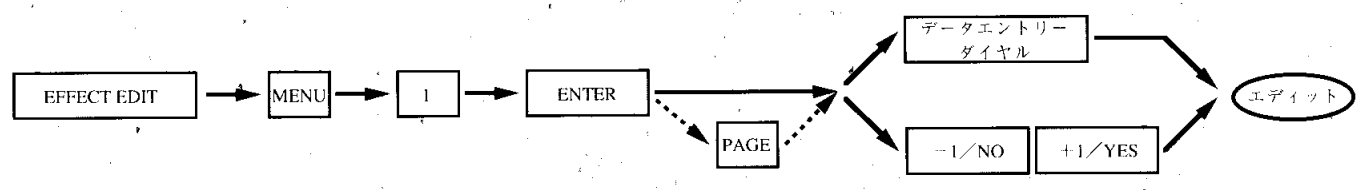
エフェクトを変える方法をマスターすれば、
手軽にEOSの音をエディットできる。
その方法を見ていこう。



エフェクトを変える



手順

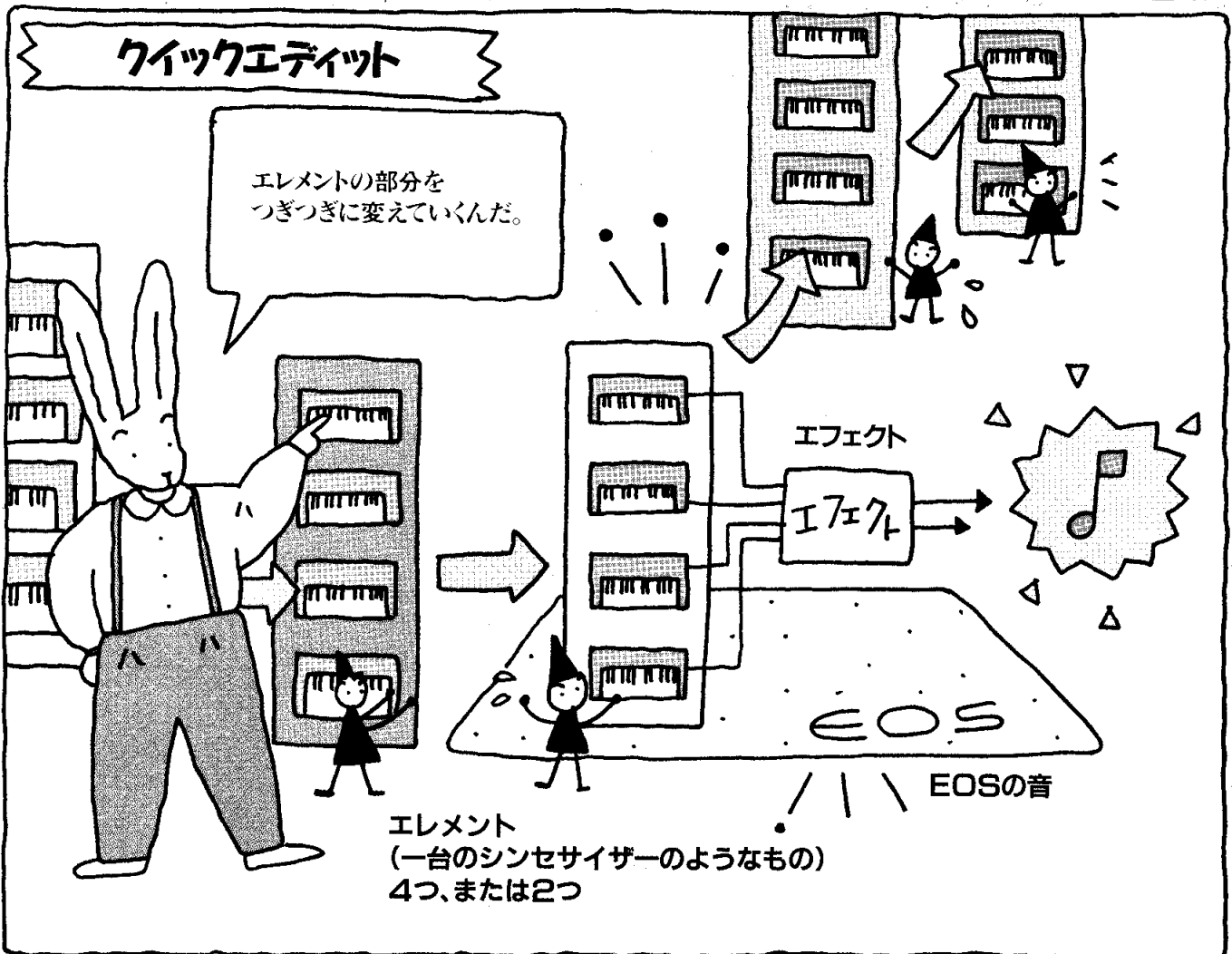
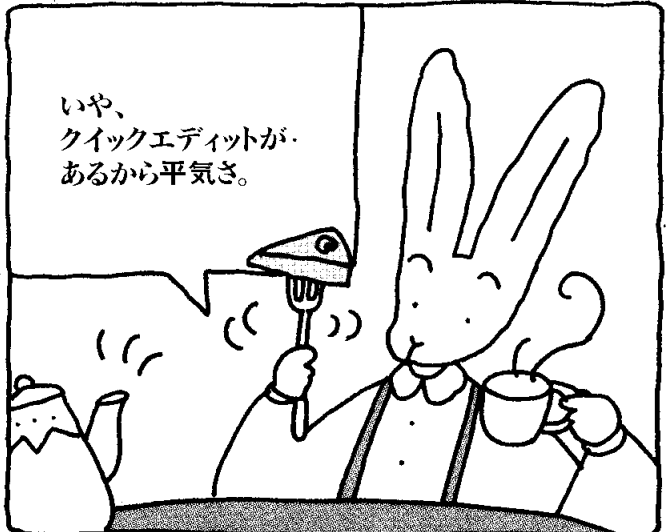
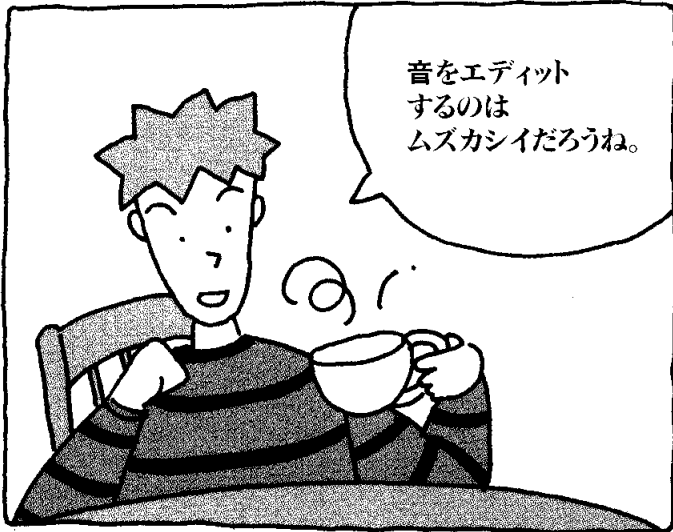


音をエディットする
エフェクトを変える方法

くわしい内容・操作方法は操作ガイドブックの⑨ページを見てね

【音をエディットする】 クイックエディット

エフェクトを変えるより、
もっと劇的に音を変えられるのがクイックエディット。
まずはその考えかたを理解しよう。



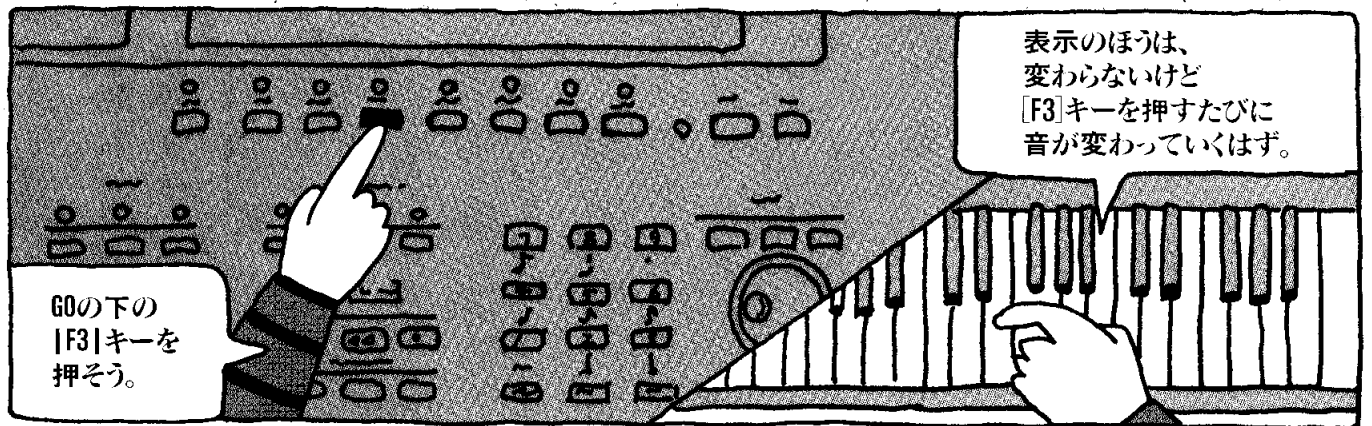
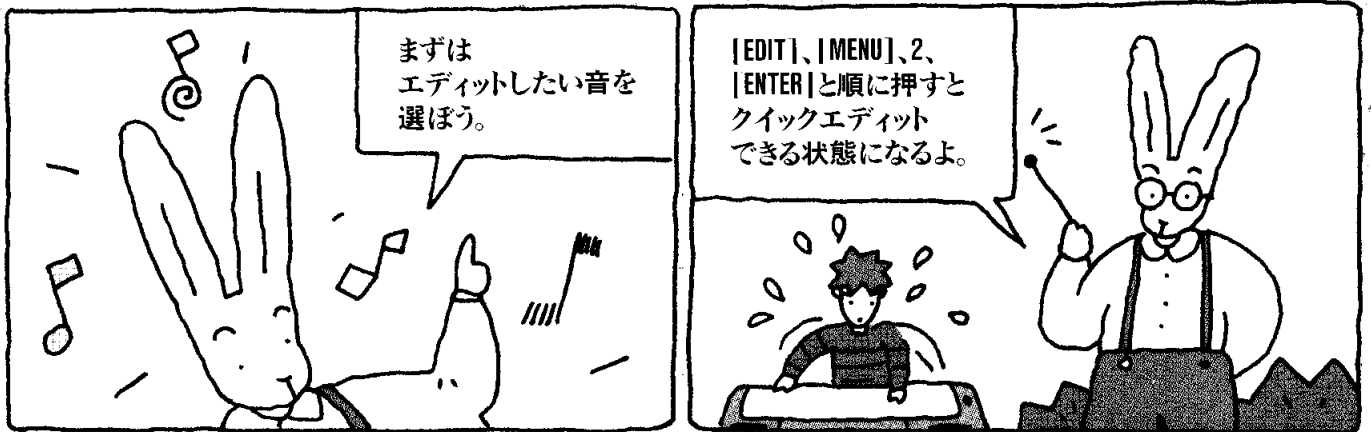
音をエディットする

クイックエディット

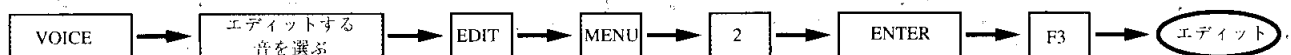
くわじ内装 操作方法は操作ガイドブックのEOSのページを参照

【音をエディットする】 クイックエディットの方法

それではクイックエディットの手順をここで紹介しよう。
けっこう簡単にできるから試してみたら？



手順



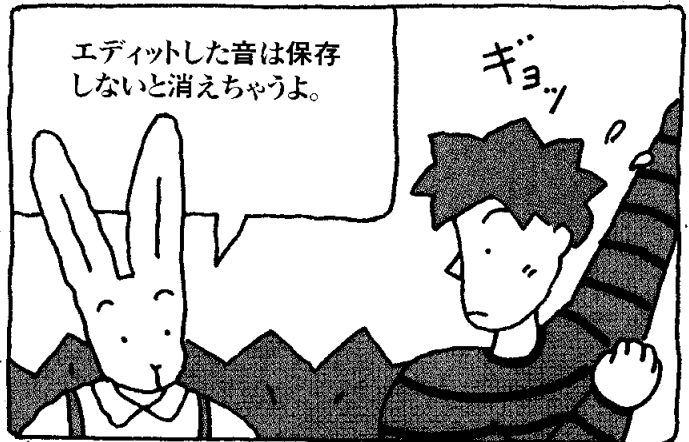
音をエディットする

クイックエディットの方法

くわしい内容・操作方法は操作ガイドブックの98ページを見てね

【音をエディットする】 作った音の保存

自分の好みの音ができたらそのあとはどうする？
聞いてみる。当然。ガンガン演奏する。もちろん。
それからどうする…？



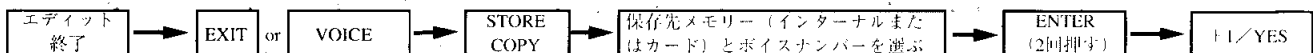
音は必ず保存しよう

エディットした音は、別の音を選ぶと消えてしまいます。気に入った音ができたら必ず保存しましょう。

この音は消えたー



手順



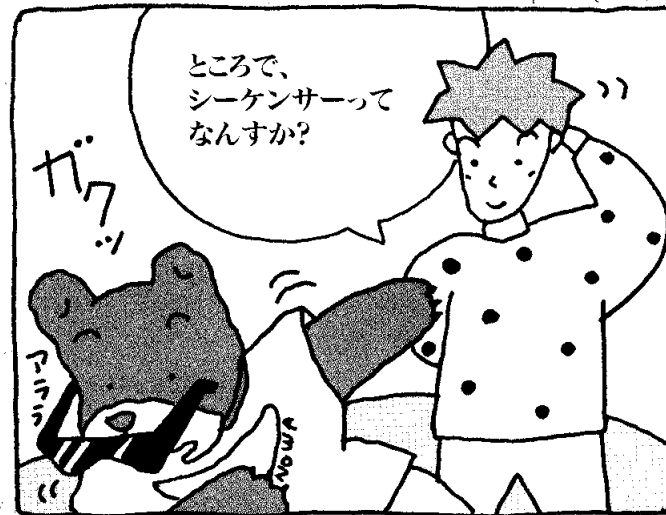
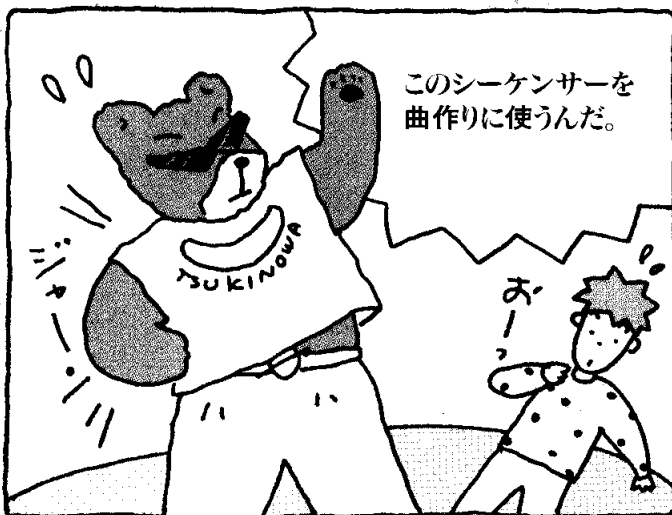
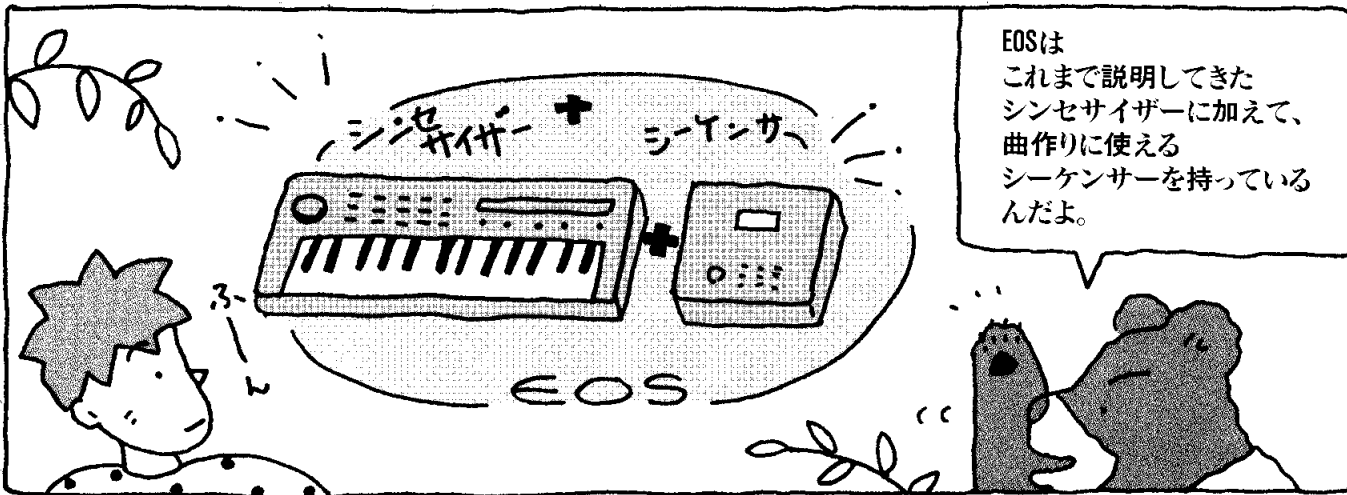
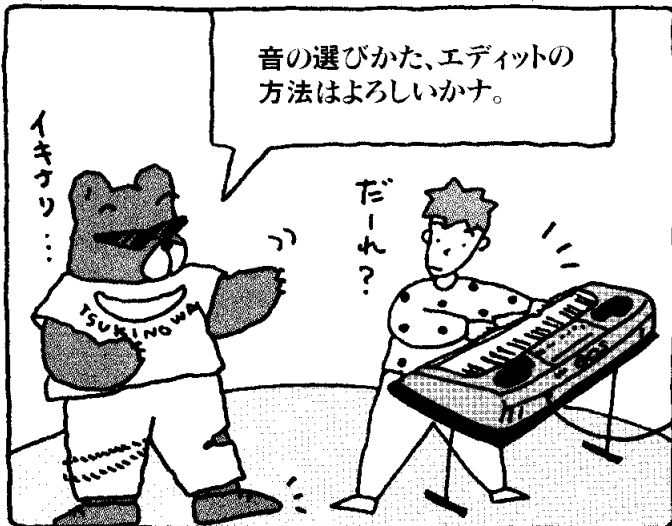
音をエディットする

作った音の保存

くわしい内容・操作方法は操作ガイドブックの⑨ページを参照

【曲作りに挑戦】 曲を作ろう

EOSの機能をフルに使って曲作りに挑戦だ。
曲作りって言ったって、ビビる必要は全くなし。
なんとってわかりやすく曲を作るための機能が盛りだくさんあるからね。



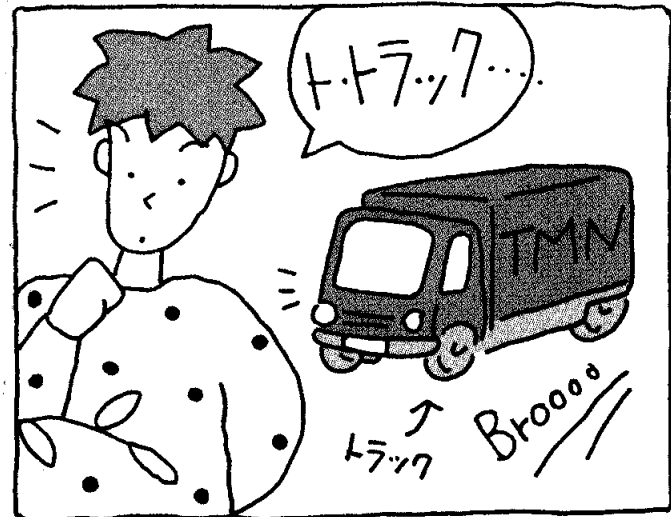
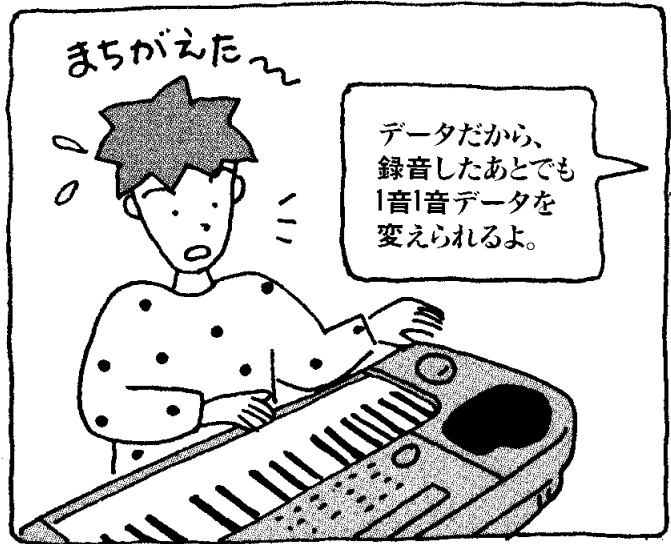
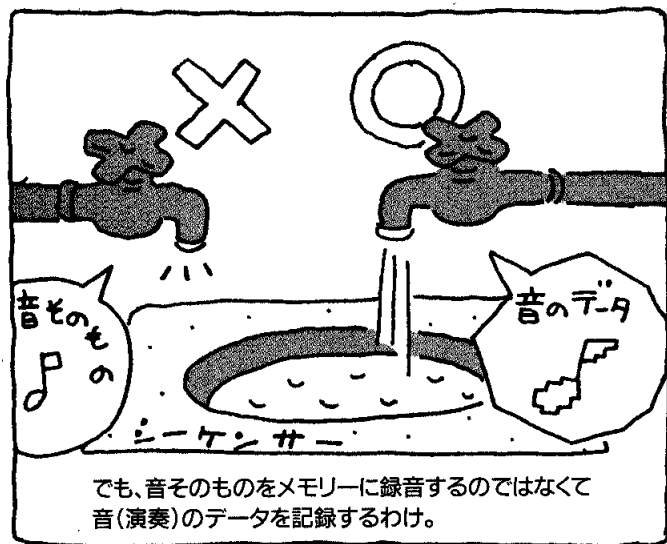
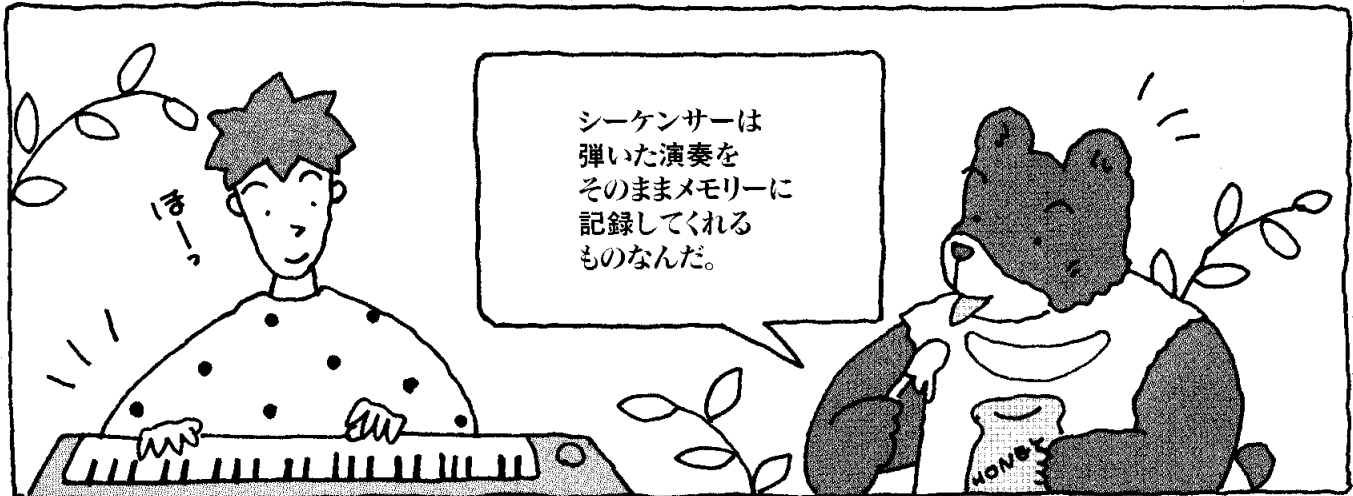
曲作りに挑戦

曲を作ろう

くわしい内容・操作方法は操作ガイドブックの⑥ページを参照せよ

【曲作りに挑戦】 シーケンサーとは

今や曲作りに欠かせないと言われるシーケンサー。
もちろんEOSはそのシーケンサーをしっかりと搭載している。
で、シーケンサーって何？！



曲作りに挑戦

シーケンサーとは

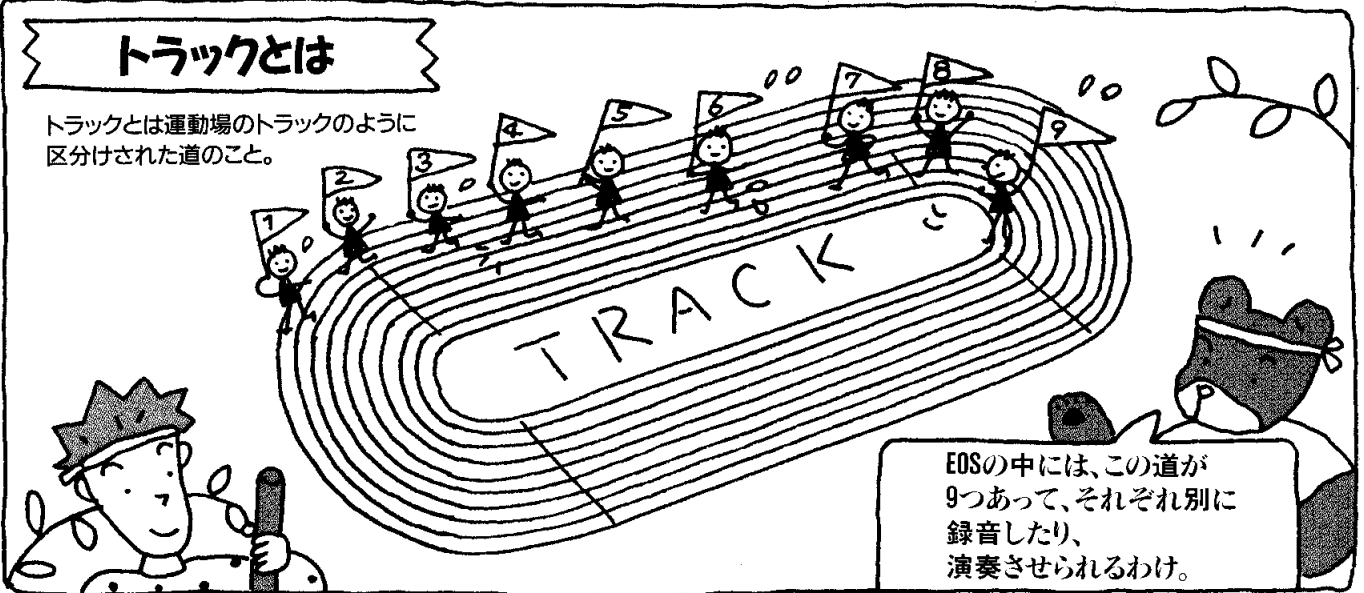
くわい内容・操作方法は操作ガイドブックの⑧ページを見てお

【曲作りに挑戦】 トラックとは

シーケンサーの考えかたの中で重要なのがトラック。
これがあるからいろいろな音を重ねて録音したり、
演奏させたりできるのだ。

トラックとは

トラックとは運動場のトラックのように
分けられた道のこと。



EOSの中には、この道が
9つあって、それぞれ別に
録音したり、
演奏させられるわけ。



つまりフルに使うと8パート+リズムの
曲をEOS1台で
作曲/演奏できちゃうわけだ。

曲作りに挑戦

トラックとは

くわしい内容・操作方法は操作ガイドブックの⑨ページを見てね

【曲作りに挑戦】 曲作りの手順

さてさて曲作りを行なっていくにあたって、
どのように作業を進めていくか？その手順が大事。まずはその手順から。



コード

ベース

ドラム

ここではこの8小節の譜例を録音していくことにしよう。

順番 Cooking Memo

マルチの設定をする
↓
リズムのパターンを作る
リズムのパターンを並べてフレーズを作る
ベースを作る
コードを作る

材料をそろえる

素材を切ったり焼いたり

仕上げにエフェクトや音量を調節する
↓
作った曲のデータを保存する
↓
完成

お皿に盛りつける

つぎに食べるときのために冷凍する

食べる

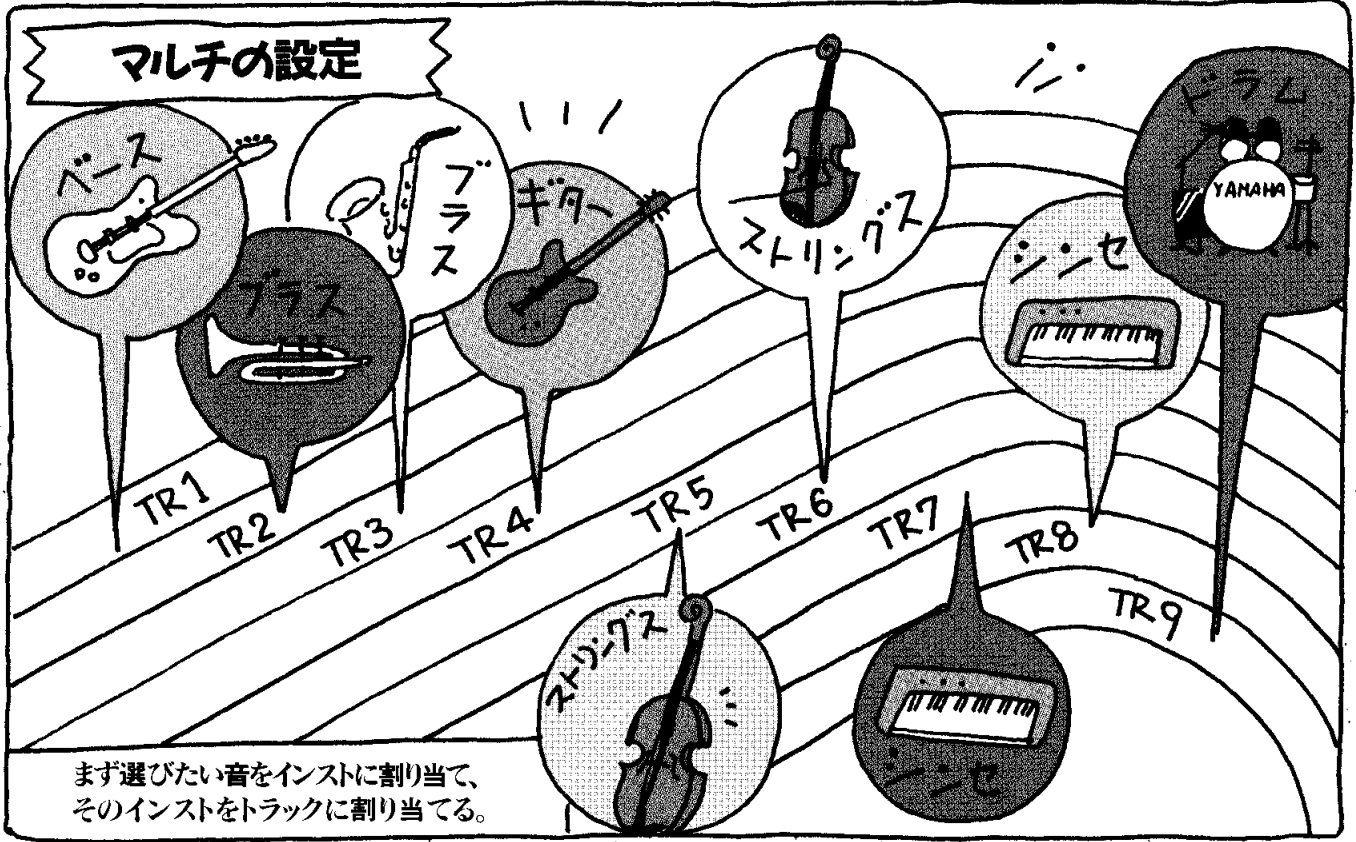
曲作りに挑戦

曲作りの手順

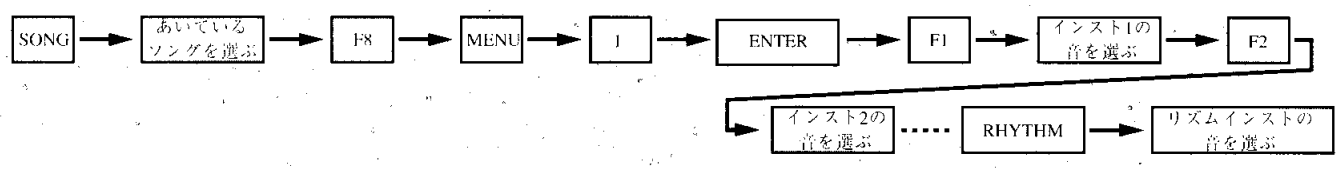
くわしい内容・操作方法は操作ガイドブックの⑨ページを参照

【曲作りに挑戦】 マルチの設定

どんな楽器編成で曲を演奏させるか？これが曲作りの第一歩。
ここではシーケンサーの各トラックに、
音を割り振っていくマルチの設定を見ていこう。



手順



曲作りに挑戦

マルチの設定

くわしい内容・操作方法は操作ガイドブックの⑨ページを見てね

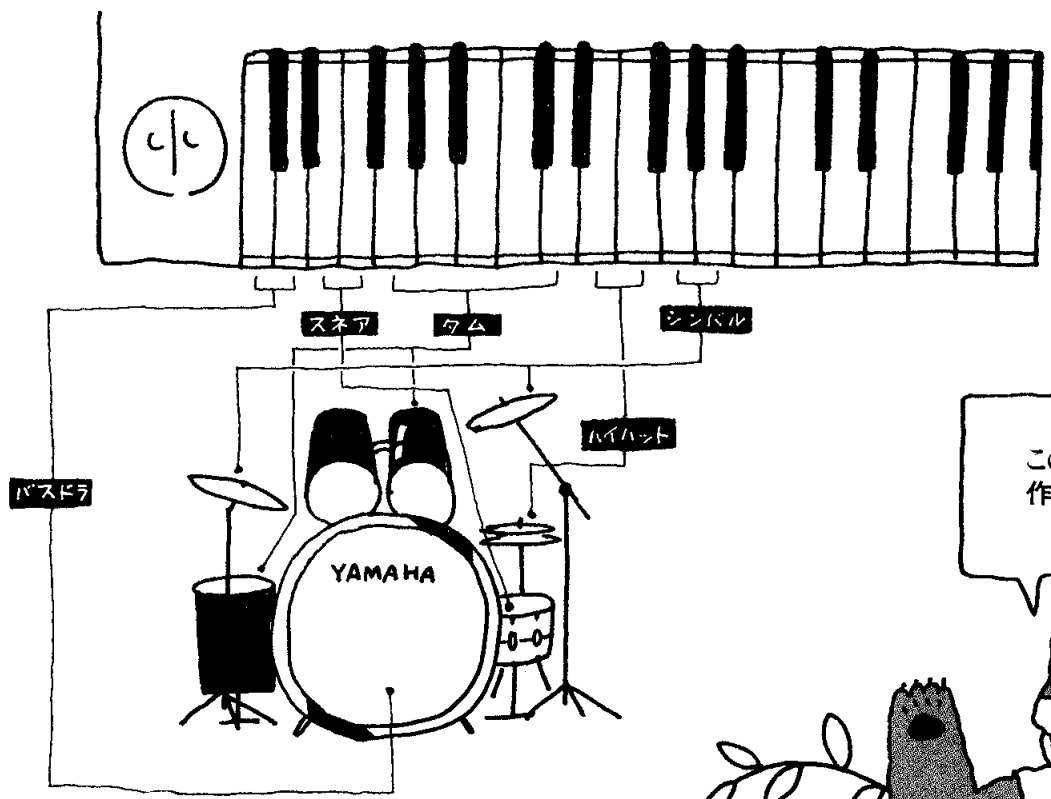
【曲作りに挑戦】 ドラムのパートを作ろう

曲の出来を左右する大切なリズム。
EOSにはドラムやパーカッションの音がたくさん用意されているから
リズムパートもバッチリね!!



EOSのドラムボイスと実際のドラム

プリセットボイスの99番を選んでみよう。



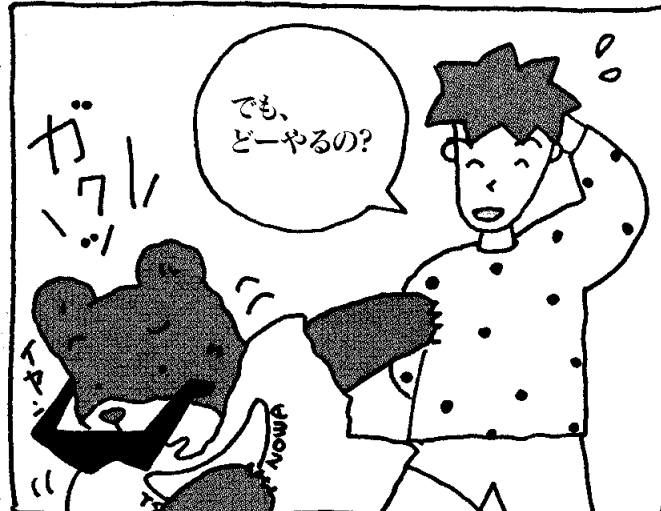
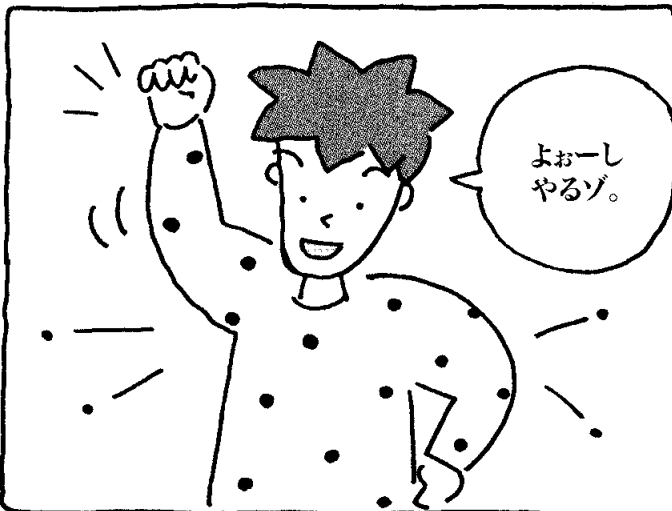
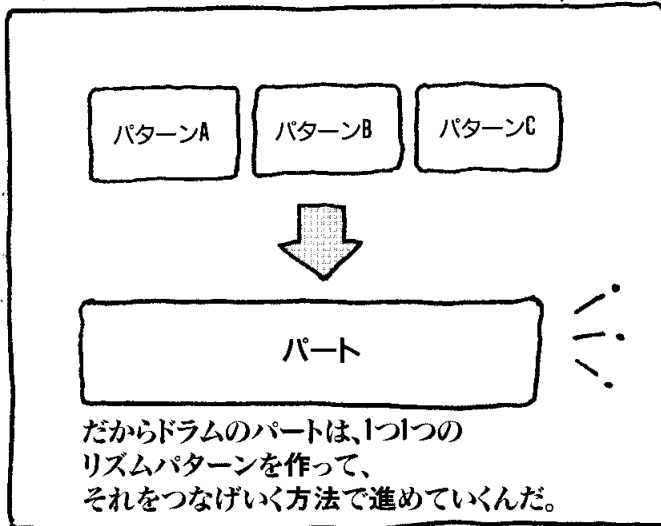
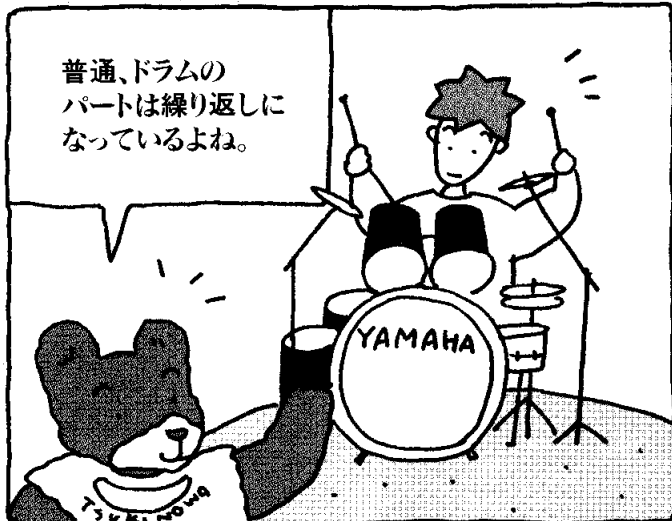
曲作りに挑戦

ドラムのパートを作ろう

くわじら内蔵・操作方法は操作ガイドブックの⑧⑨⑩ページを見よう

【曲作りに挑戦】 ドラムのパートは リズムパターンをつなぐ

ドラムのパートは1つつのリズムパターンをつないで作っていく。
このほうが合理的だし、時間の節約にもなるよ。



曲作りに挑戦

ドラムのパートはリズムパターンをつなぐ

くわしい内容・操作方法は操作ガイドブックの曲ページを見てね

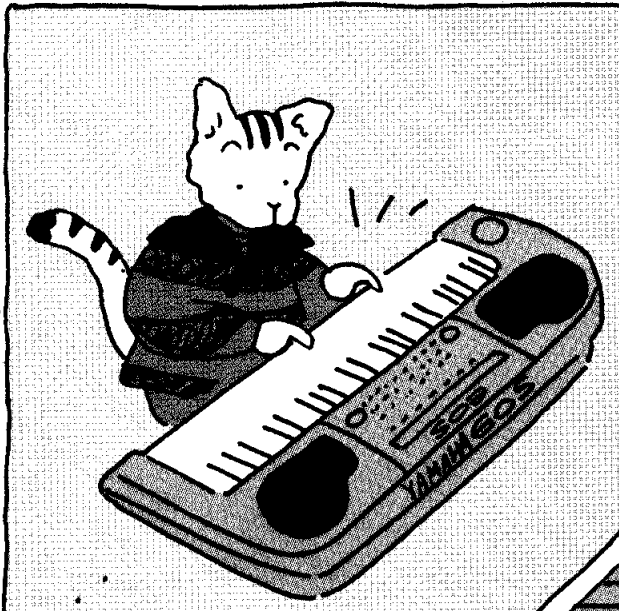
【曲作りに挑戦】

リズムパターンを作る方法

リズムパターンを作るには2つの方法がある。
1つがリアルタイムレコーディング。
もう1つはステップレコーディングだ。



リアルタイムとステップ

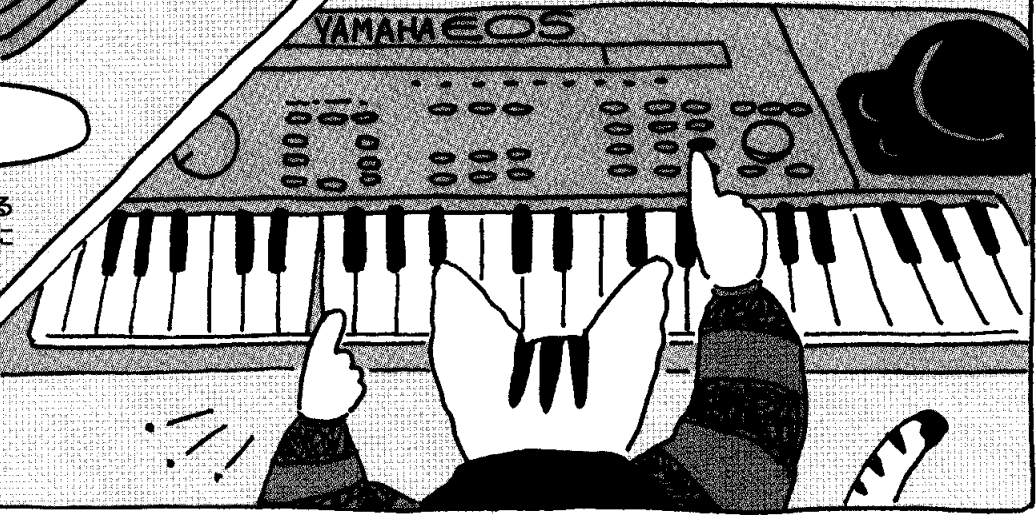


ステップレコーディング

音符をデンキーで、1つずつ録音していく方法。
演奏が苦手な人でも入力できるのが特徴。

6 リアルタイムレコーディング

弾いたままに記録してくれる方法で、テープデッキ感覚にすばやく入力できる。
エイ、ヤツと録音しよう。



曲作りに挑戦

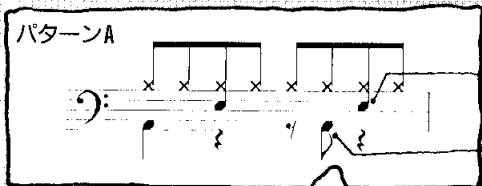
リズムパターンを作る方法

くわしい内容・操作方法は操作ガイドブックの④ページを参照せよ

【曲作りに挑戦】 リズムパターンを リアルタイムレコーディング

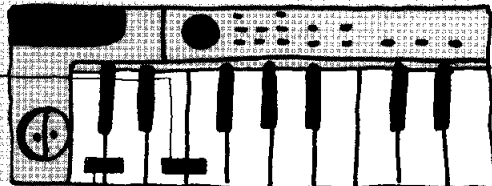
リアルタイムレコーディングは、
テープ感覚で弾いた演奏をそのまま録音してくれるというもの。
その実際の手順を見てみよう。

[PATTERN]キーを押して、パターンモードにし、インターナルメモリーに切りかえレコーディングするパターンを選びます。
[JOB]の2: CLEAR PATTERNで、もとのデータをあらかじめ消してスタンバイOK。 EOS



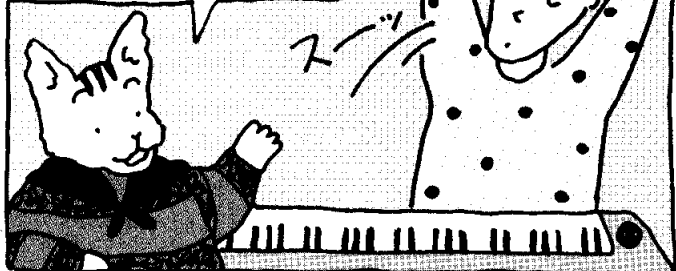
スネア

バスドラ



それではリアルタイムレコーディングで
パターンAを入力しよう。

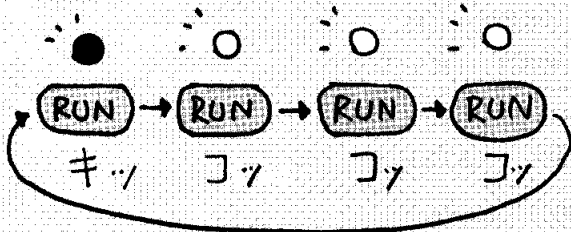
レコーディングの準備が
できたら(手順参照)、
深呼吸!!



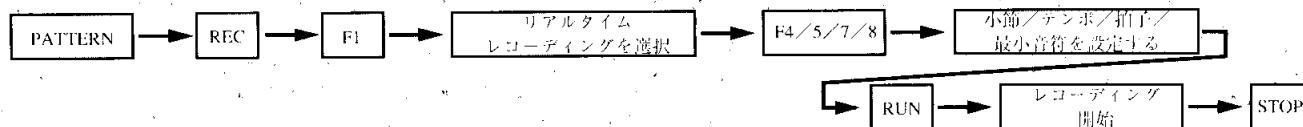
[REC]、[RUN]キーを
押すとレコーディング、
スタート!!!



メトロノームに合わせて入力しよう。
演奏が終わったら[STOP]キーを押す。



手順



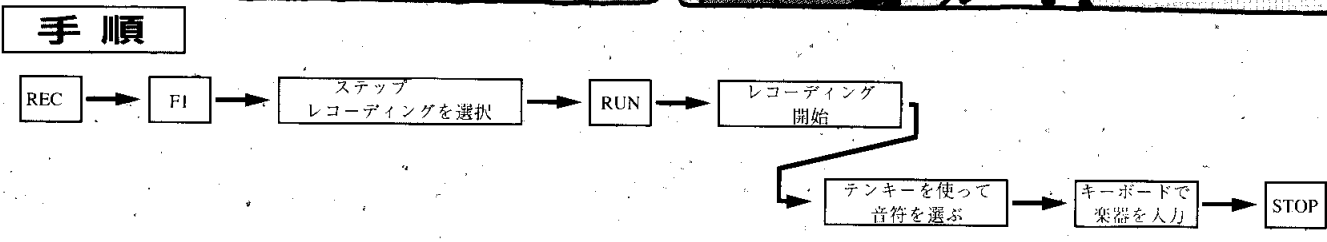
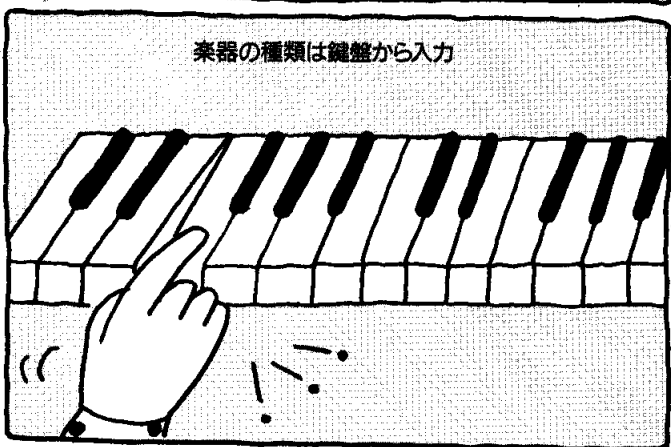
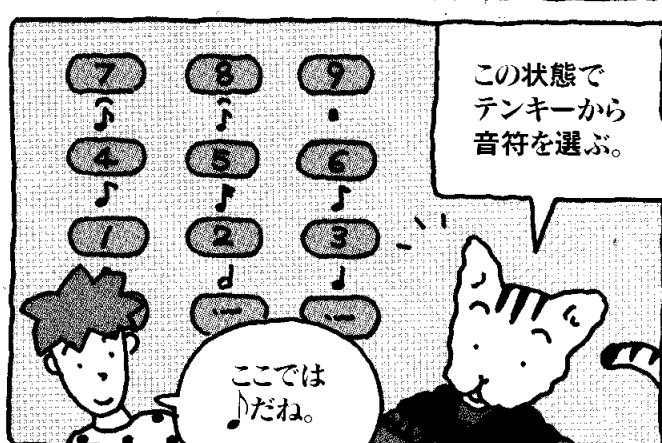
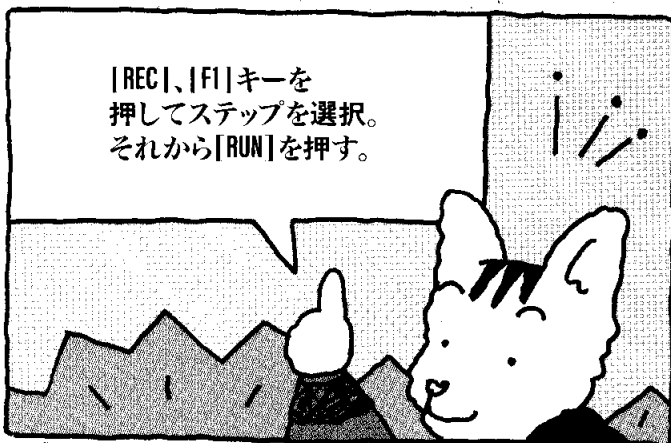
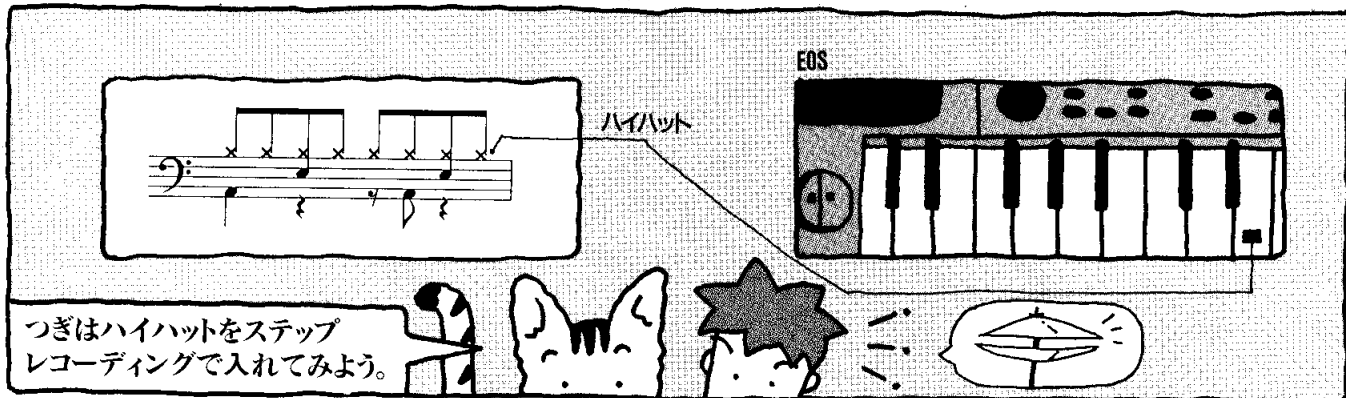
曲作りに挑戦

リズムパターンをリアルタイムレコーディング

くわしい内容・操作方法は操作ガイドブックの⑧ページを参照

【曲作りに挑戦】 リズムパターンを ステップレコーディング

リアルタイムレコーディングが終わったら、
つぎはステップレコーディングに挑戦だ。
テンキーを使って入力できるから演奏が苦手な人でも安心ね。

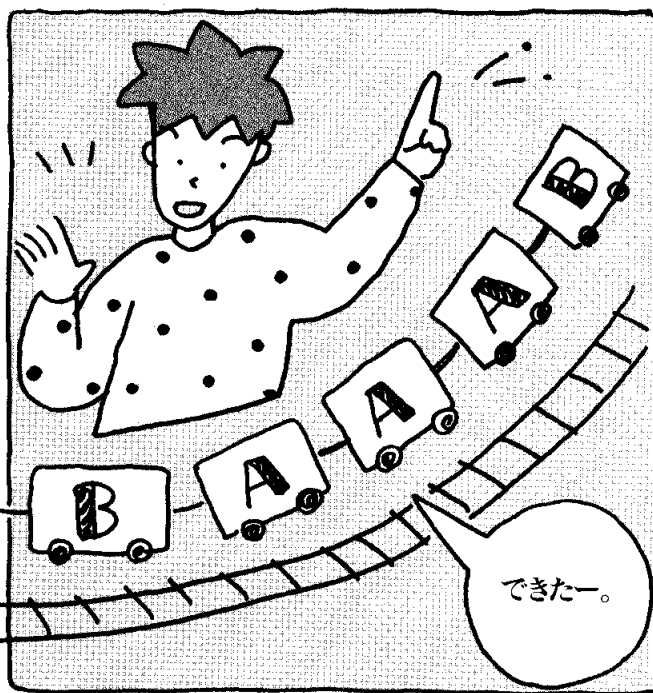
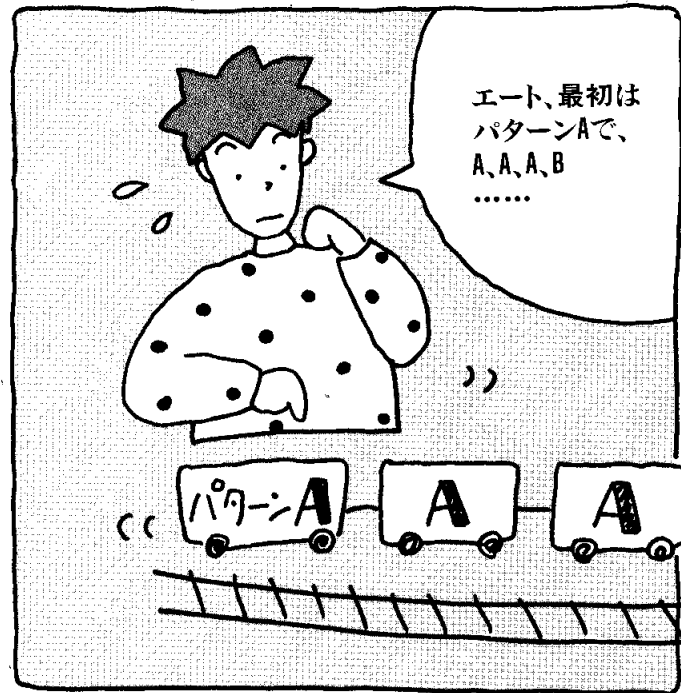
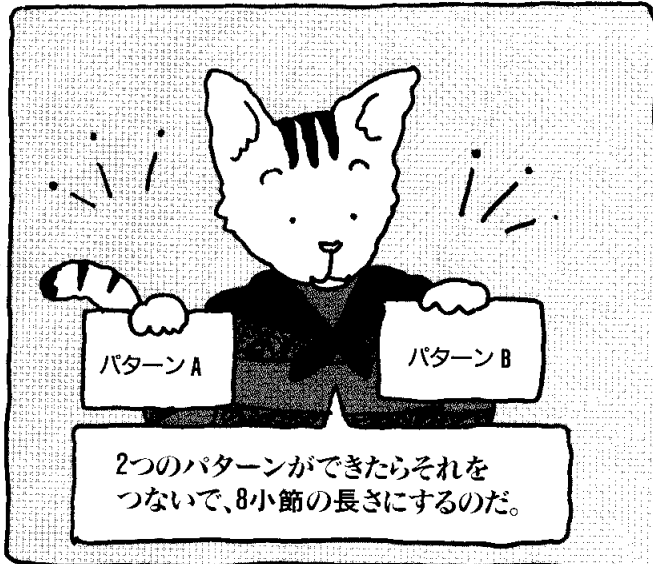


曲作りに挑戦
リズムパターンをステップレコーディング
くわしい内容・操作方法は操作ガイドブックのメニューを参照ね

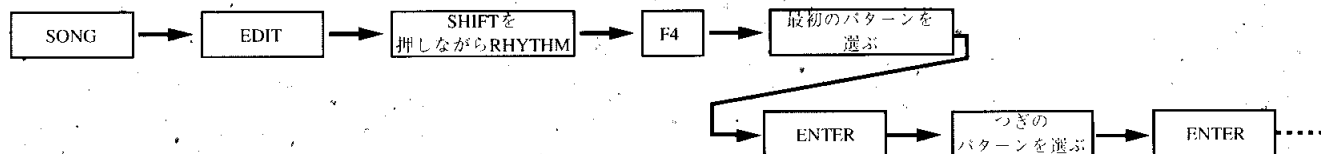
【曲作りに挑戦】

リズムパターンのならべかえ

リズムパターンができてそれだけじゃなんでもない。
できたパターンをつないでリズムパートを作っこそ、
初めてリズムの完成と言えるのだ。



手順



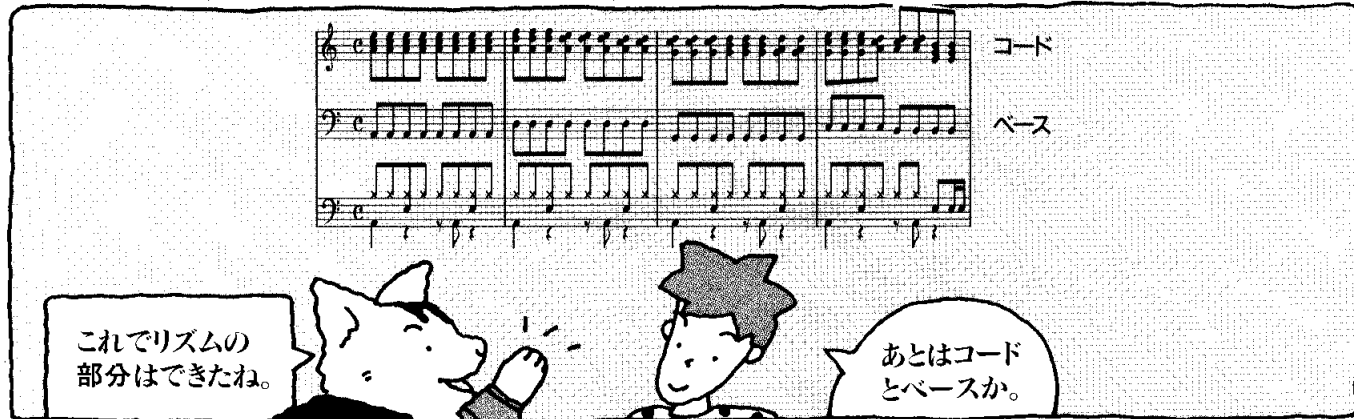
曲作りに挑戦

リズムパターンのならべかえ

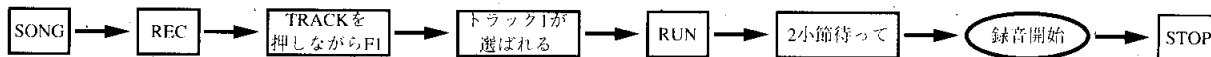
くわしい内容・操作方法は操作ガイドブックの④ページを参照

【曲作りに挑戦】 ベースを入力する

リズムパートが完成したらつぎはベースパート。
ベースパートはリアルタイムでレコーディングしていこう。
要領はリズムの時とだいたい同じ。



手順



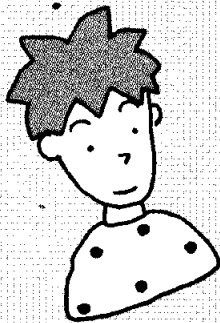
【曲作りに挑戦】

4つのデータ修正方法

間違えた場合はどうするの？ いえいえ心配は御無用。
EOSにはちゃんとデータを修正する機能が搭載されているのだ。
それぞれの間違いくあいに合った方法でデータを修正していこう。

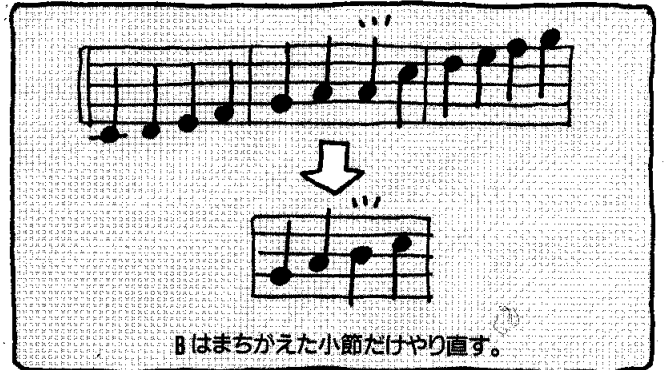
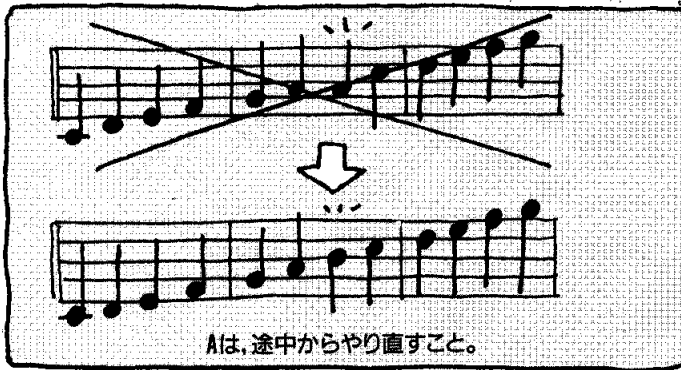


データの修正

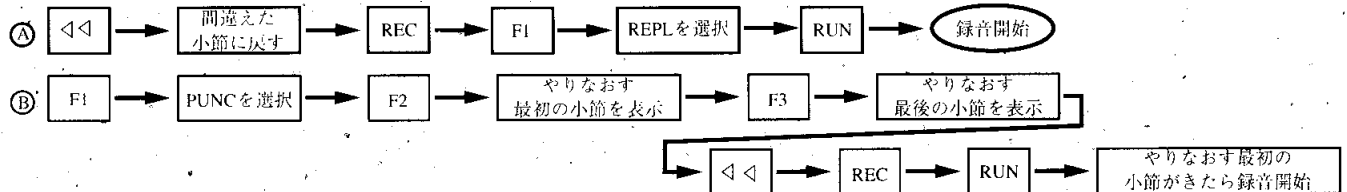


- A: 途中からやり直す(リプレース)
- B: ある小節をやり直す(パンチイン/アウト)
- C: 音を加える(オーバーダビング)
- D: 音をそろえる(クオンタイズ)

入力したデータは
4つの方法で修正
できるよ。



手順



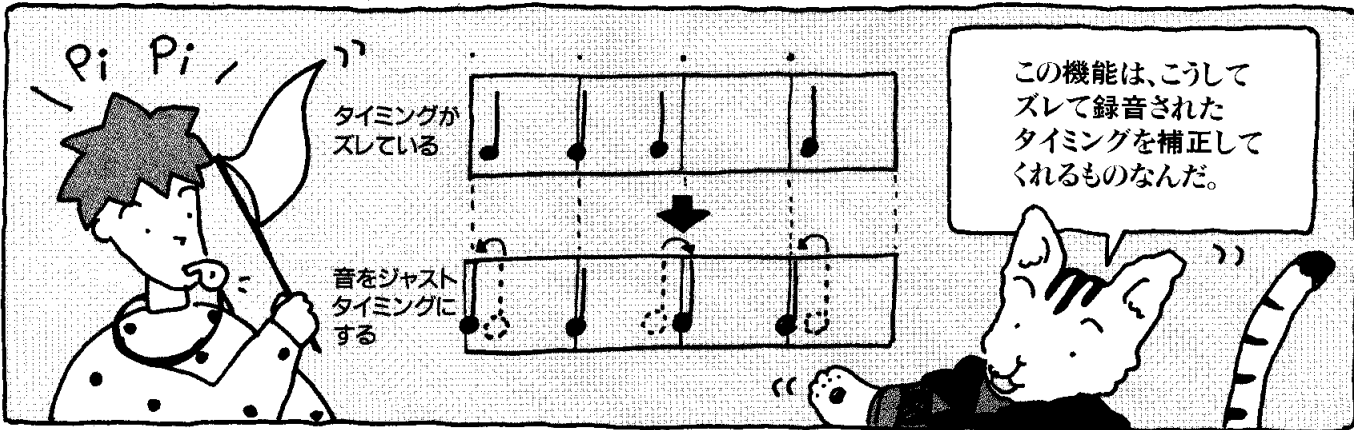
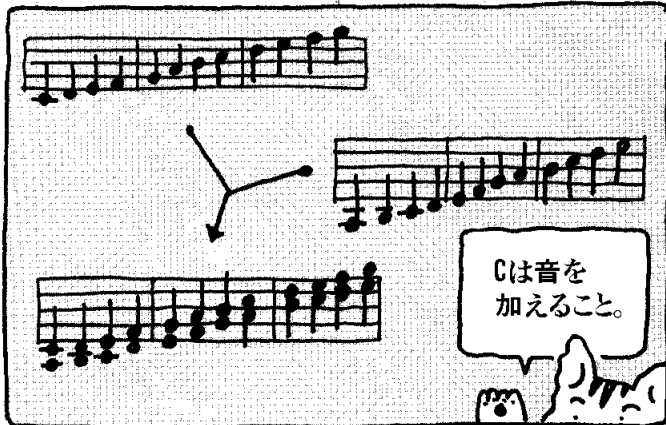
曲作りに挑戦

4つのデータ修正方法

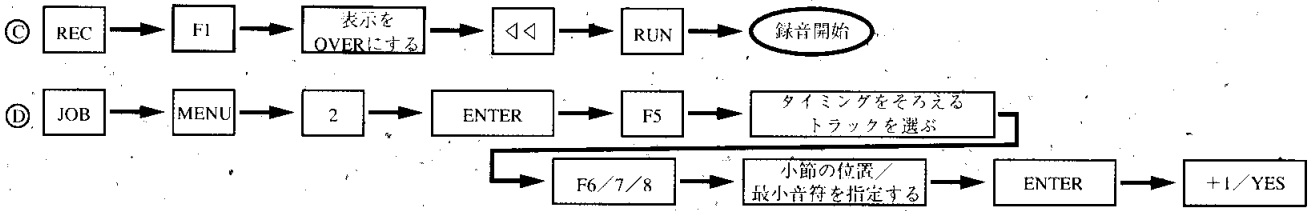
くわしい内容・操作方法は操作ガイドブックの④ページを見てね

【曲作りに挑戦】 音をそろえよう

レコーディングし終わったデータがなんかヘン。
そんな時、データをよくよく聞いてみるとタイミングがズレていたりするもの。
果たしてこの問題に解決策はあるの？



手順



曲作りに挑戦

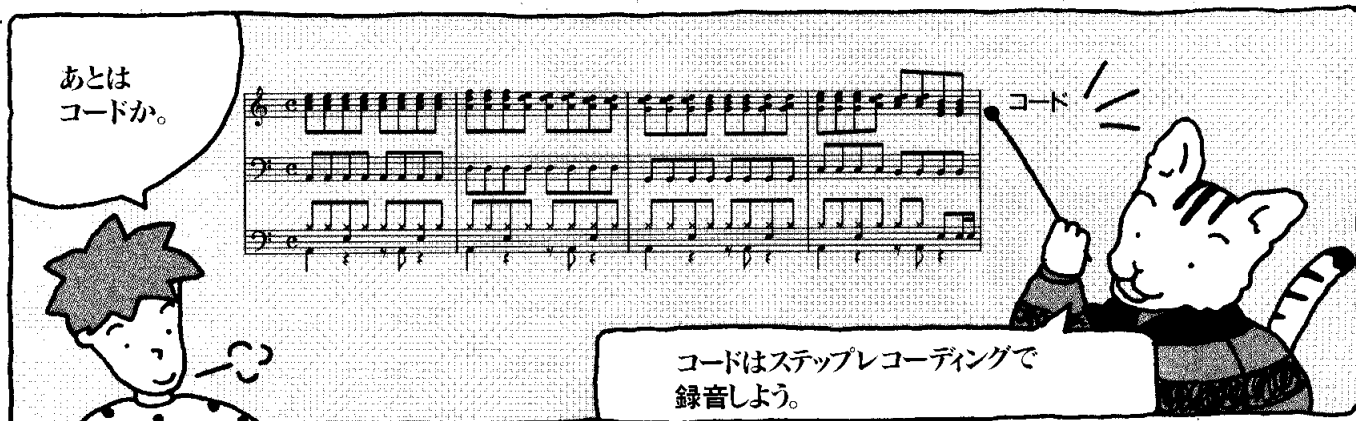
音をそろえよう

くわしい内容・操作方法は操作ガイドブックの⑥ページを参照

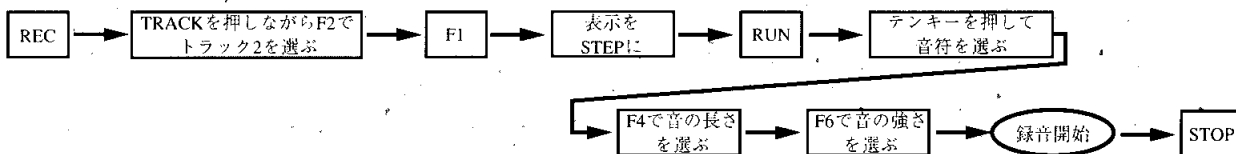
【曲作りに挑戦】

コードをステップレコーディング

曲作りもよいよ大詰め段階に。ステップレコーディングでコードを録音しよう。
慣れてしまえばスパイク入力できるゾ!!



手順



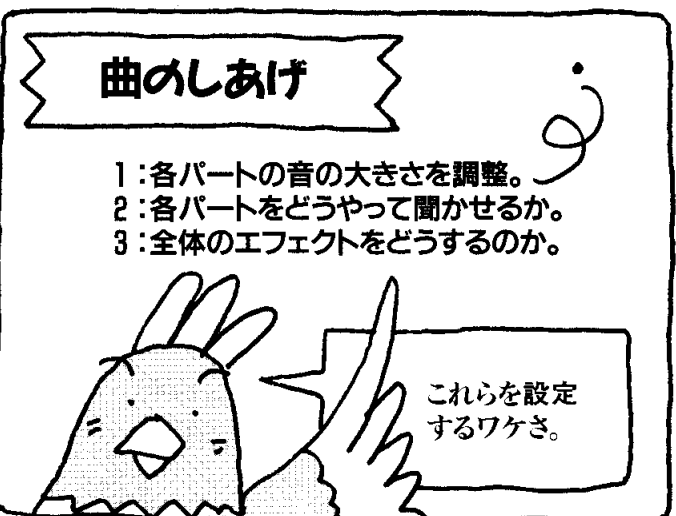
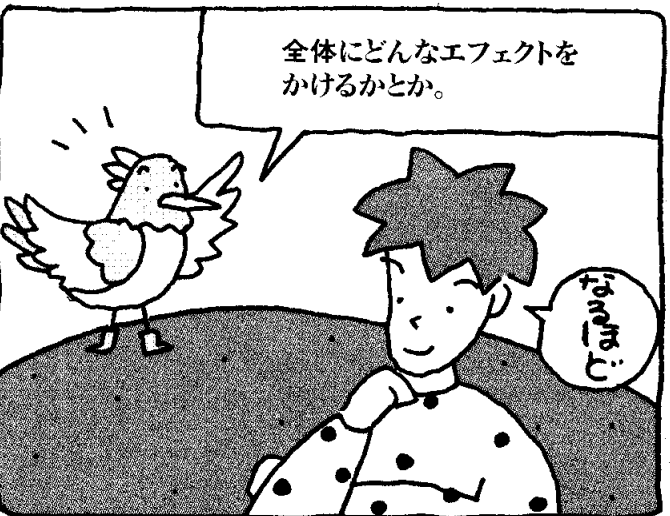
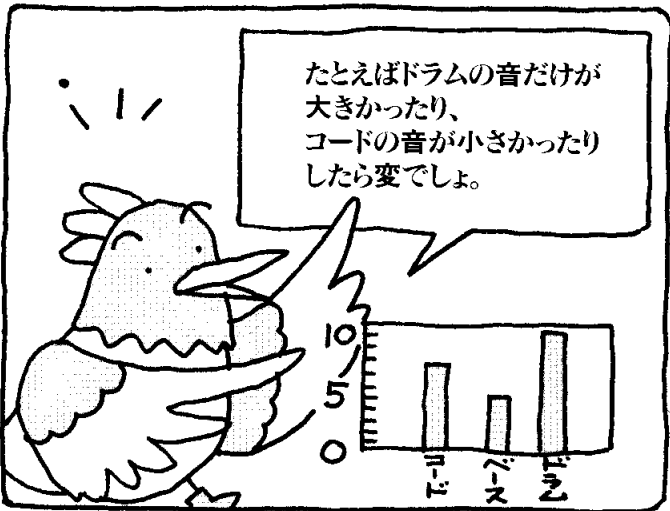
曲作りに挑戦

コードをステップレコーディング

くわしい内容・操作方法は操作ガイドブックの04ページを見てね

【曲作りに挑戦】 曲のしあげ

譜面を全て録音しても、それで曲作りは終わりじゃない。
録音した曲をもっとよく聞かせるためにちょっとした作業が必要なのだ。



曲作りに挑戦

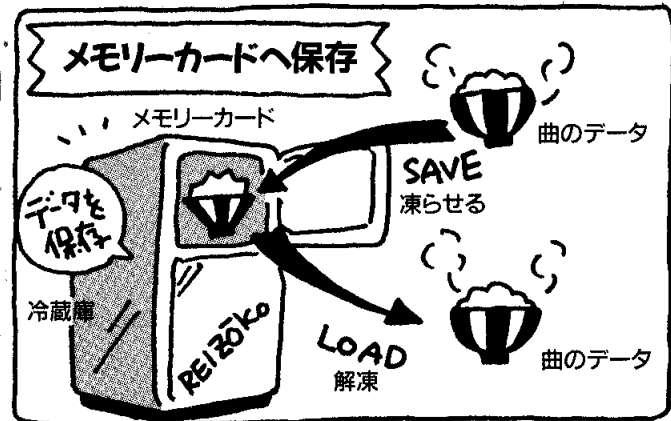
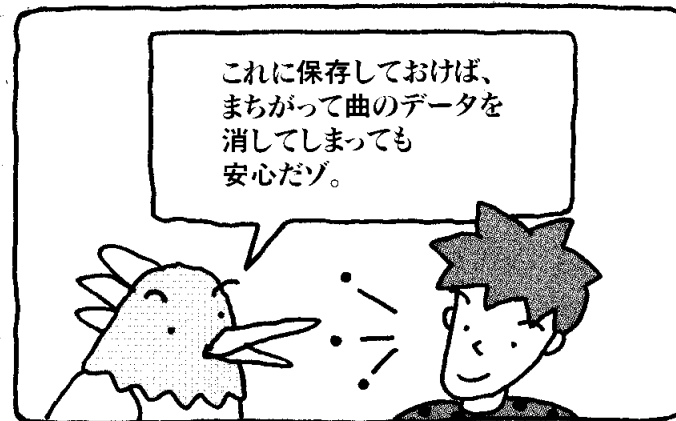
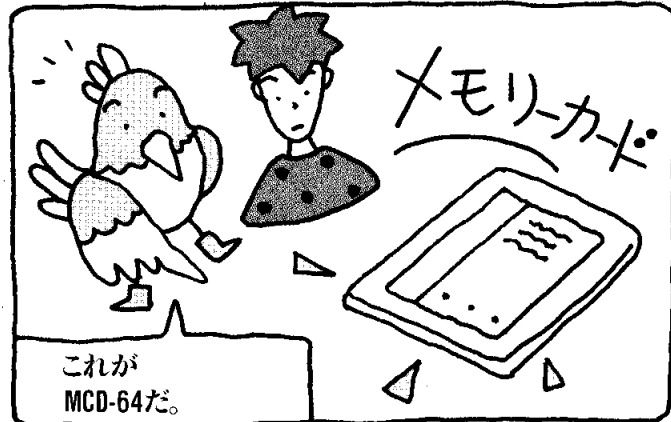
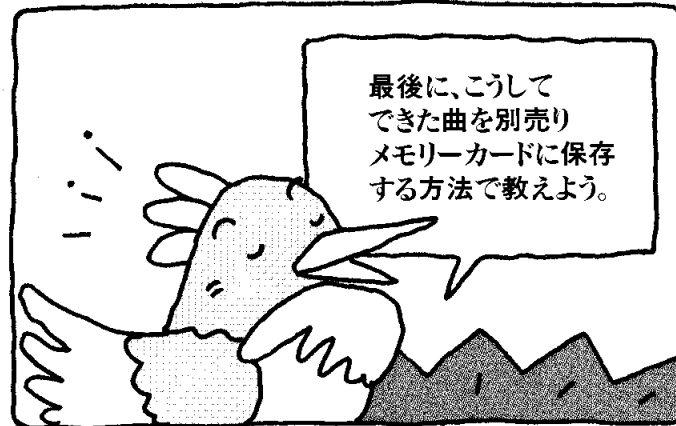
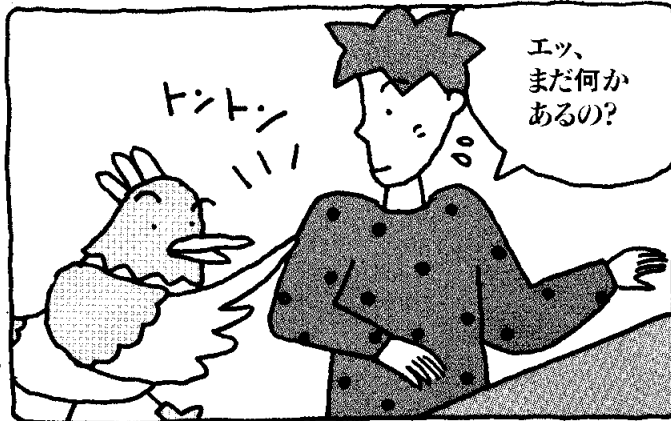
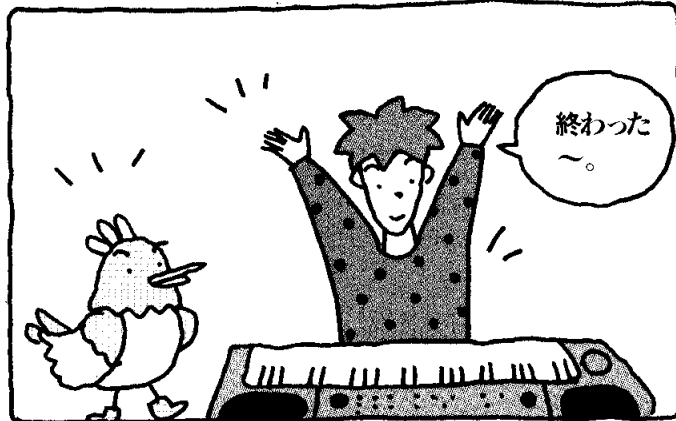
曲のしあげ

くわしい内容・操作方法は操作ガイドブックの⑨ページを参照

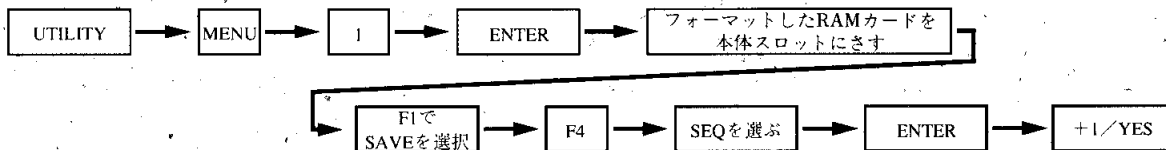
【曲作りに挑戦】

できた曲をメモリーカードに保存する

完成した曲を別売りメモリーカードに保存しておけば、
うっかりしてせっかくの曲を消してしまうことは起こらない。
ここでは、そうした曲データの保存方法を伝授しよう。



手順



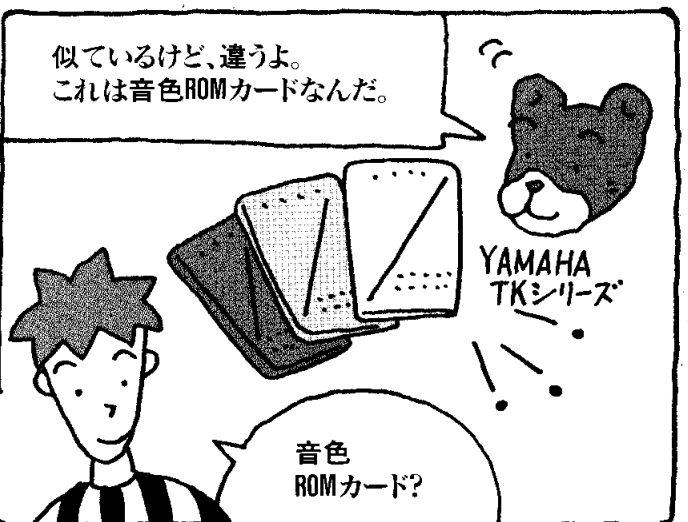
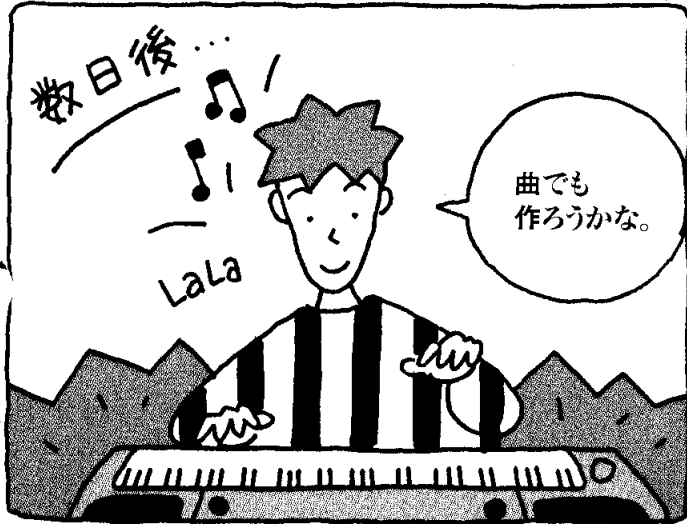
曲作りに挑戦

できた曲をメモリーカードに保存する

くわいじぶらぶら・曲・操作方法は別冊ガイドブックEOSのページを参照してください

【EOSの発展性】 EOSは発展する

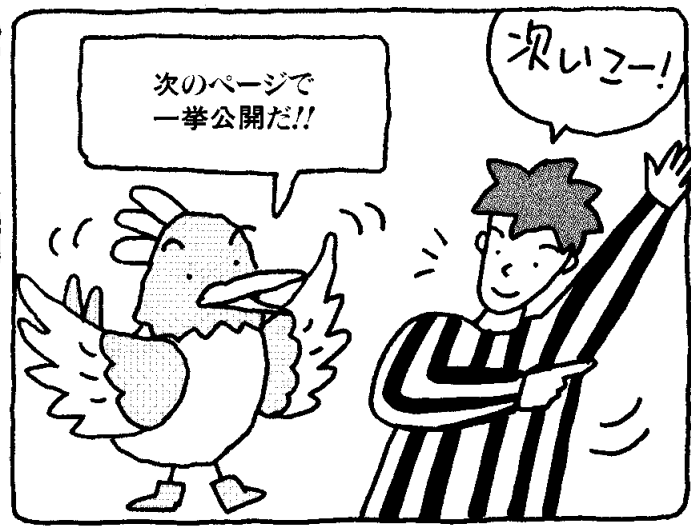
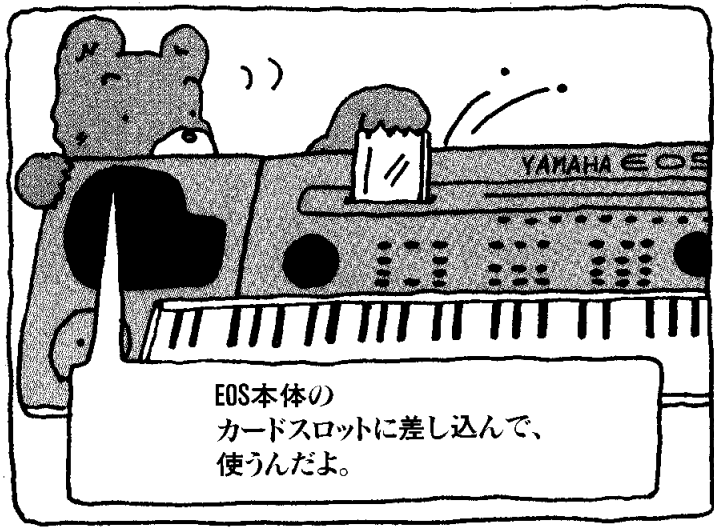
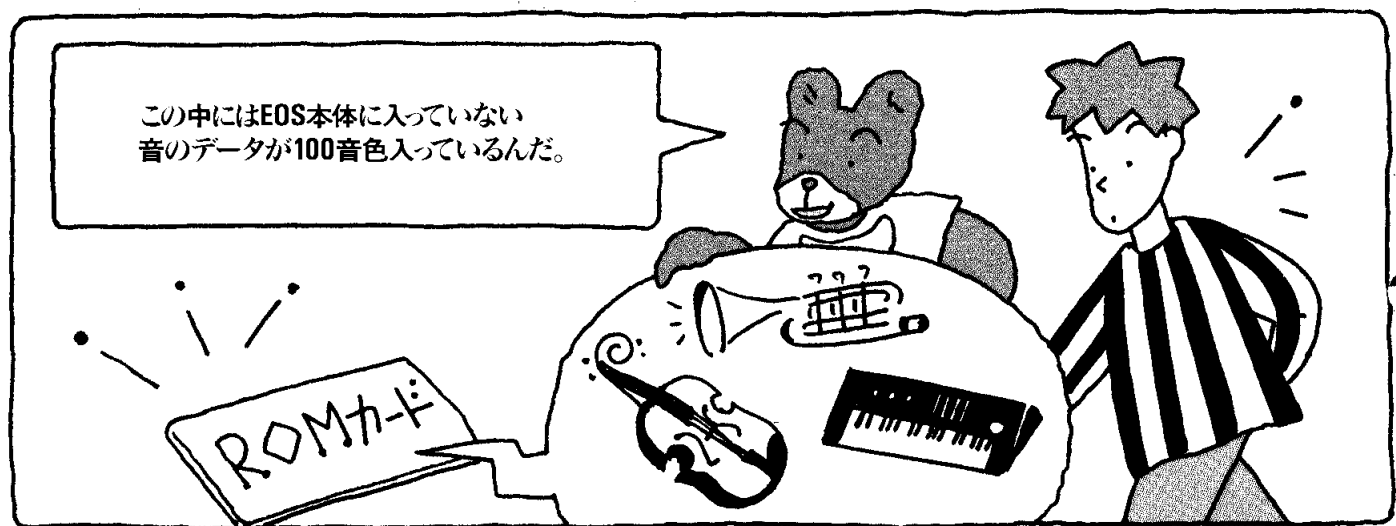
EOSにはまだまだ紹介しきれなかった機能がたくさんある。
ここではそんなEOSの発展性についてスポットを当ててみたいと思う。



【EOSの発展性】 カードで音を増やす

内蔵サウンドに物足りなくなった欲張りのキミ。
EOSは音色カードによってあたらしい音をどんどん供給できるよ。

EOSの発展性……
カードで音を増やす



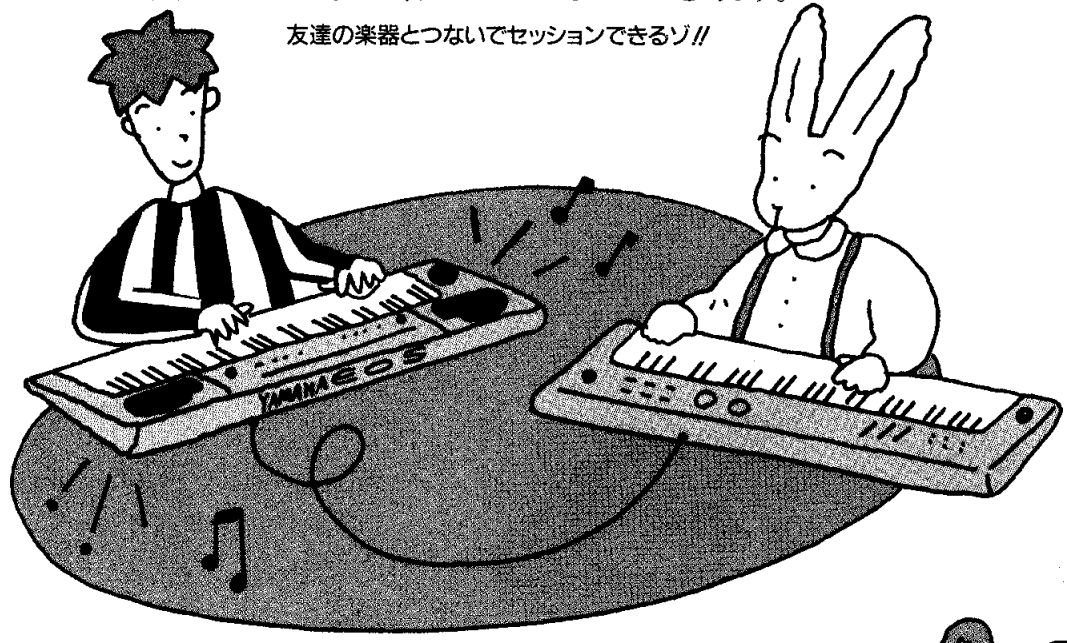
くわしい内容・操作方法は操作ガイドブックの◎ページを見てね

【EOSの発展性】

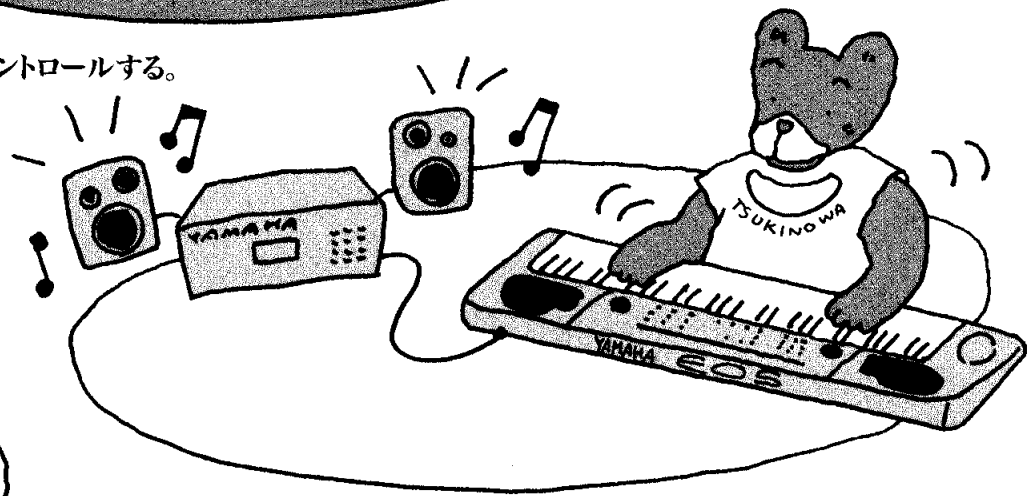
ほかの機材をつなぐ

EOSの発展性はまだまだあるゾ。
ここでは代表的な3つの拡張性をあげておこう。
このほかにもキミの使いかたしだいで無限にEOSワールドは広がるよ。

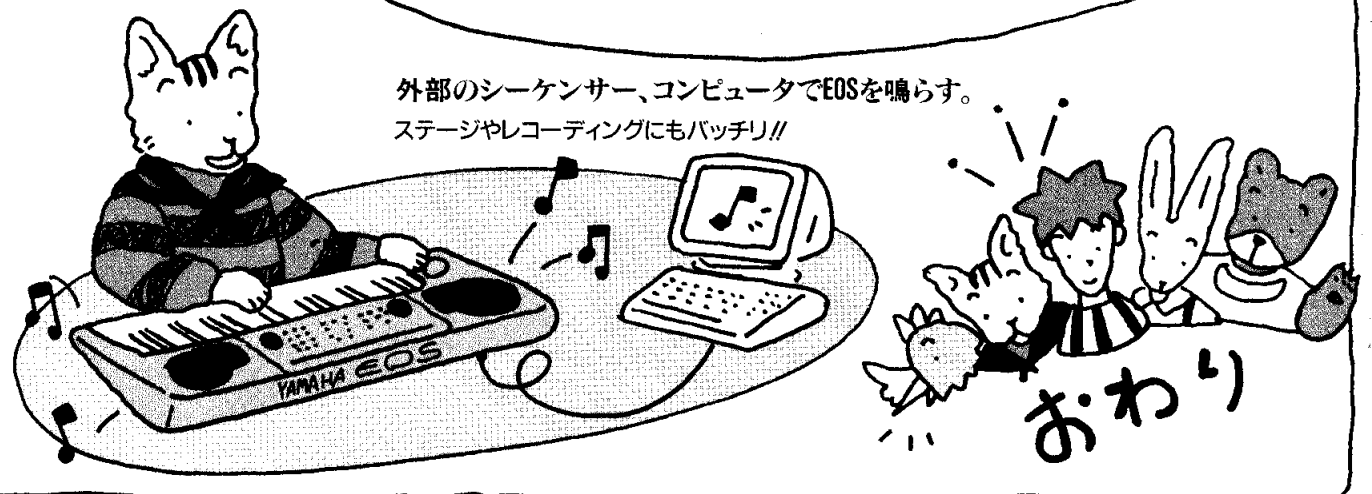
外部のシンセサイザー、リズムマシンなどでEOSを鳴らす。
友達の楽器とつないでセッションできるゾ!!



EOSで他のマシンをコントロールする。
君だけの音楽システムが
作れるゾ!!



外部のシーケンサー、コンピュータでEOSを鳴らす。
ステージやレコーディングにもバッチリ!!



EOSの発展性

ほかの機材をつなぐ

くわしい内容・操作方法は操作ガイドブックの8ページを見てね



ヤマハ株式会社